



贈
呈

葛川をきれいにする会 —活動記録集—

第1号

(平成13年10月～平成15年6月)



葛川をきれいにする会編集委員会

～目次～

葛川をきれいにする会メッセージ及び私たちの活動		1
活動記録編集・発行に当たって		2
二宮町内 葛川地図		3
		4
H.13.10.12	タウンニュース記事	
H.13.10.19		
H.13.10.13	第1回清掃(葛川橋～軒吉橋)	5
H.13.10.27	第2回清掃(葛川橋～軒吉橋)	6
H.13.11.3	第3回清掃(倉田橋～新田橋)	7
H.13.11.10	広報にのみや記事	8
H.13.11.13	第4回清掃(金田橋～新田橋)	
H.13.11.23	タウンニュース記事	
H.13.12.3	相模朝日記事	9
H.13.12.22	第5回清掃(金田橋～原田橋)	
H.14.1.19	第6回清掃(新田橋付近)	
H.14.1.19	二宮小学校葛川浄化活動「レンガ玉投入」	10
H.14.1	カンナ倶楽部記事	11
H.14.2.1	タウンニュース記事	
H.14.3.2	第7回清掃(新西谷戸橋～清水橋)	12
H.14.3.16	第8回清掃(新西谷戸橋～清水橋)	13
H.14.3	カンナ倶楽部記事	14
H.14.4.6	第9回清掃(上北根橋～向根橋)	15
H.14.4.20	第10回清掃(向根橋～前田橋)	16
H.14.4	カンナ倶楽部記事	17
H.14.5.4	第11回清掃(前田橋～新西谷戸橋)	18
H.14.5.20	相模朝日記事	19
H.14.6.1	第12回清掃(葛川橋～軒吉橋)	20
H.14.6.8	葛川ウォーク開催	21
H.14.6.22	第13回清掃(軒吉橋～萬年橋)	22
H.14.6.26	二宮小学校葛川浄化活動	23
H.14.6	カンナ倶楽部記事	24
H.14.6.29	第14回清掃(清水橋～葛川橋)	25
H.14.6	カンナ倶楽部記事	26
H.14.7.6	第15回清掃(萬年橋～妙見橋)	27
H.14.7.20	第16回清掃(妙見橋～花月橋)	28
H.14.8	カンナ倶楽部記事2点	29

H.14.8.3	第17回清掃(花月橋～内輪橋)	30
H.14.8.17	第18回清掃(内輪橋～倉田橋)	31
H.14.9.21	第19回清掃(倉田橋～こゆるぎ橋)	32
H.14.10.5	第20回清掃(新田橋～こゆるぎ橋)	33
H.14.10.19	第21回清掃(塩見橋～下浜橋)	34
H.14.10.30	二宮小学校葛川浄化活動	35
H.14.11.15	タウンニュース記事	36
H.14.11.2	第22回清掃(下浜橋～大磯町境)	37
H.14.11.15	二宮小学校総合学習「EM団子づくり」	38
H.14.11.18	第23回清掃(倉田橋～川窪橋)	39
H.14.12.2	相模朝日記事	40
H.14.12.11	二宮小学校総合学習「葛川きれいになあれ！」看板取り付け	41.42
H.14.12.12	神奈川新聞記事 相模朝日記事	43
H.15.3.3	相模朝日記事	44
H.15.3.29	第24回清掃(新西谷戸橋～清水橋)	45
H.15.4.19	第25回清掃(内輪橋～新田橋)	46
H.15.5.3	第26回清掃(新田橋～鍛冶屋橋)	47
H.15.5.21	大磯プリンスホテル合同清掃記事	48
H.15.6.7	第27回清掃(下北根橋～前田橋)	49
H.15.6.15	カナナ倶楽部記事	50
H.15.6.21	第28回清掃(前田橋～新西谷戸橋)	51
H.15.6.25	相模朝日記事	52
	底生動物調査結果表	53
	底生動物写真	54.55
	河川環境基準(二宮町発行「にのみやの環境」より)	56.57
	水質分析地点	なし
	葛川等の水質調査結果	58.59
	葛川の回収ゴミ内容集計一覧	60
	EM作業、投入記録	61.62
	参加、主催行事等一覧(H13年度10月～H15年度6月)	63.64
	「葛川をきれいにする会」名簿	65
	「葛川をきれいにする会」にご協力いただいた団体・機関等	66
	編集後記 及び 奥付	67

メッセージ

水のある風景は、私たちの暮らしにうるおいを与えてくれます。

私たちの町の「葛川」はきれいですか？

昔は川で泳いだりしたと聞きます。しかし、今はどうでしょう…

ゴミが捨てられ、泡をたてて生活排水が流れ込み、水量もずいぶん少ないですね。

葛川をよみがえらせるためには何が必要か。一緒に考えましょう。

川を愛する人が増えることは、町を愛する人を増やすことにもなります。

そうして、住みよいまちづくりの一步を進めたいと思います。

わたしたちの活動

■ 定期的な葛川の清掃（3月～11月）

これが、とっても爽快で楽しい！

自然に触れながら、川の現状を体感します。

■ 県や町と連携、近隣の商店や企業とも協同

葛川は県が管理する2級河川です。そのため県や町と連携し、川の環境と、それにつながる海の環境保全に取り組みます。

また、町内の商店や企業の理解と協力を得ながら町全体に活動をひろげていきます。

■ 中井町・大磯町も含め、広域的に活動

上流の中井町、下流の大磯町と連携し、葛川の環境保全を全体的に取り組みます。

■ 学習会をひらきます

川のこと、海のこと、環境のことなど、身近な自然環境を楽しみながら学ぶ場を、つくっていきます。

■ 環境教育につなげます

子どもたちの総合学習の一環として、葛川をテーマに身近な環境について考え学ぶ機会をいっしょにつくっていきます。

活動記録編集・発行にあたって

ここに平成15年6月までの活動記録をまとめることができまして、真に嬉しく思います。

延べ28回に及ぶ清掃作業(延べ参加人員446名)、10,205㎡の草刈り作業、ほぼ毎月2回のEM発行液の製造・放流作業、水質検査作業、地元二宮小学校の総合学習活動の一部協力や参加、多くの方々との接触等のほか、月1回の定例会、総会、臨時総会、二環会の設立、そして当記録集の発行という、一年あまり前に発足したボランティア団体としては、真に驚異の活動実績であったと思います。内外からやりすぎだというような意見などもいただきましたが、決めたことは断固やり抜くという固い決意と、会員を含めたたくさんの方々の声援やご協力がいただけたことの賜であります。

川をきれいにするという事は、実は始めから広域町民、広域行政、広域政治の力が三位一体とならなければ、大変難しいことであることはわかっていながら、とにかく出来ることから始めようと実践してきたわけであります。

私達は、二宮町役場、神奈川県平塚土木事務所の協力を一部得ることができましたが、この短い期間では、広域市民や広域政治の力を充分借りるまでには及びませんでした。もっと積極的な多くの市民の協力・参加、もっと積極的な政治や行政の協力、そして中井町と大磯町の協力も不可欠であります。現在3町による「葛川サミット」ができ、「清流を取り戻す会」ができ、葛川フォーラムが開催されましたが、これもひとえに、当会の日頃の活動の影響ではと自負致しておる次第です。

活動の具体的な事柄につきましては、本文にてご理解いただきたいと思います。何せ素人のボランティア団体がまとめたものであります。専門的に見ればまことに不十分で、つたない記録集であるかと思いますが、会員や協力者、関係者の皆様から見れば、忘れ得ないたいへん重要な記録集であります。

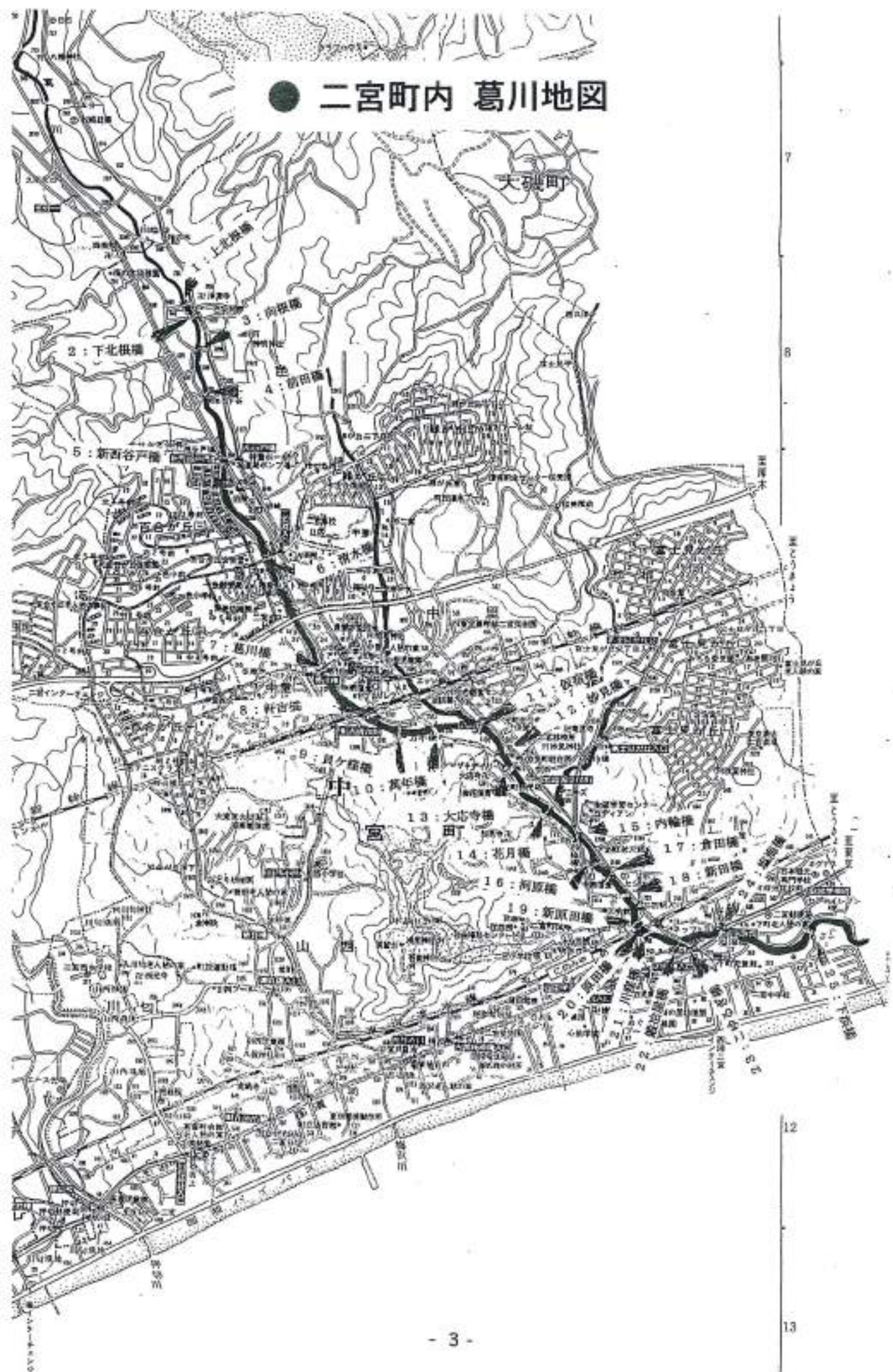
最後に会員の皆様、本当にご苦労さまでした。どうぞ自分を誉めてあげてください。私が皆様方を表彰させていただきます。また関係者の皆様、ありがとうございました。

この活動と思いが、とぎれることなく継続され、発展し、いつか葛川やすべての町内の河川や海が本当にきれいになることによって、美しい町、誇れる町、こころ安らぐ町としての環境立国二宮町の象徴となることを夢見て、ご挨拶に代えさせていただきます。

葛川をきれいにする会 初代代表 向後 孝明

平成15年6月吉日

● 二宮町内 葛川地図



川清掃を通じて まちづくりを

—「葛川をきれいにする会」活動開始—



川底には建築用鉄筋などが
たくさん埋まっていた

二宮町をほぼ南北に流れている葛川。一見、きれいに思えるが川の底には多くのゴミが埋まっている。そんな葛川を再生、保全し、共有できる町の財産にしたと、町民たちが立ち上がった。「葛川をきれいにする会(仮称)」「向後孝明代表」。その第一回の清掃活動が十三日に行われた。

当日参加した九人は川の中と川堤に分かれ、清掃活動を開始した。川の中に入ると、コンクリート片や自動車のバッテリー、自転車などが川底に埋まっていた。スコップで掘り起こしては引き上げ、また川堤のゴミを見つけては拾った。作業開始から二時間もたたないうちに、川堤からはビンや缶、ペットボトルなどが八袋、建築用鉄筋十本など、多くのゴミが集められた。

引き上げた廃棄物は神奈川県、その他のゴミは二宮町が回収に協力してくれることになっている。「ゴミも多かったが水質も最悪、下水道のような臭いが漂っていた。もっと川を大切にしたい」とメンバーたちは話す。

同会は今後、葛川の清掃だけにとどまらず、多くの目標を掲げていきたいと訴えている。水質を向上させることから始め、いずれかは河川そのものを活用、そうすることで町民同士の結束がたまり、同会のテーマである「良いまちづくり」につながることを考えている。「まずはできることから一歩一歩前進していきたい」と向後さんは話している。

次の清掃活動は十月二十七日(土)に行われる。同会では協力してくれるボランティアを募集 중이다。詳細は☎0463(72)6084向後さんまで。

■大磯・二宮・中井版/№409 平成13年10月12日(発行)

ボランティアが葛川を清掃

明日午前9時30分より参加者募集中

二宮町でこのほど、「葛川をきれいにする会(仮称)」「向後孝明代表」が発足した。同会はゴミの回収活動などを通じ、二宮町をほぼ南北に流れる葛川の自然を再生、保全してゆき、町民が共有できる財産にしていくことを目的としている。

同会では明日十三日(土)午前九時三十分より、葛川の清掃活動を行う。場所は西友二宮店駐車場すぐ西側。回収の対象となるのは、コンクリート片を含む草木以外の全てのゴミで、時間はお昼頃までとなっている。

また同会では、この清掃活動に参加してくれる町民ボランティアを募集している。用具は各自持参。前日に大雨が降った場合や、当日が雨天や強風の場合は延期となる。詳しい問い合わせ、ボランティアの申し込みは☎0463(72)6084向後さんまで。

● 第1回「葛川清掃」

日時：平成13年10月13日（土）AM9:30～PM12:00

場所：葛川橋～軒吉橋の途中

（集合場所：葛川橋）

参加：10名（小学生1人含む）



【作業記録】

- ・可燃物6袋、ビン・ガラス1袋、かん1袋
- ・コンクリート1山

● 第2回「葛川清掃」

日時：平成13年10月27日（土）AM9:30～PM12:00

場所：葛川橋～軒吉橋の途中

（集合場所：葛川橋）

参加：12名（小学生1人、高校生1人含む）



川の清掃



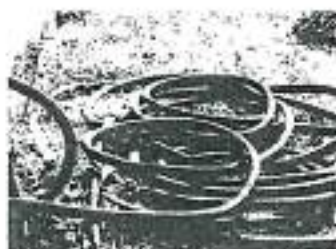
土手の清掃



チラシ配り



清掃前の様子



謎のパイプ



コンクリート護岸



回収ゴミの一部



自転車



バイク



バイク（別角度から）

【作業記録】

- ・可燃物11袋・他、ビン・ガラス3袋、かん1袋
- ・オートバイ
- ・自転車

● 第3回「葛川清掃」

日時：平成13年11月3日（土）AM9:30～PM12:00

場所：倉田橋～新田I（北口商店街付近）

（集合場所：新田橋）

参加：6名（小学生1人含む）



布は意外と重い



広範囲の作業



ブロック護岸



只今清掃中



これは...



水際の清掃



中州の清掃



大きなゴミ多いね！

【作業記録】

- ・可燃物7袋、ビン・ガラス1袋、かん1袋、ほか
- ・自転車2台
- ・毛布

美しい川を蘇らせ街の魅力に

〇二宮町の真ん中を流す昔は、川で泳いだりする子で遊ぼうと思わなかったのは、流れる「葛川」の濁り。川堤をどもたちの姿が当たり前の。橋、しかし、それなら美しい川が、ゴミが臭く散らばるように見られたというが、くすばらない川にしたい。汚い川を綺麗にする。水は清く生き生きと、そんな言葉を聞き、力強い言葉で思いの河を立って洗ひ込んで、することもない。汚い川を綺麗にしたい。

人物風土記



●10月から清掃活動を開始した「葛川をきれいにする会」の代表を務める

向後 孝明 さん

二宮町 富士見が丘在住

〇川は時代やその土地に住む人の人柄、行状などを映し出す鏡のようなものである。川に清き水が流れるのは、何となくいい感じがする。葛川は、昔は、清く流れていたが、ゴミや汚物が、川を汚す。汚い川を綺麗にする。水は清く生き生きと、そんな言葉を聞き、力強い言葉で思いの河を立って洗ひ込んで、することもない。汚い川を綺麗にしたい。

タウンニュース

(平成 13 年 11 月 23 日)

広報にのみや

(平成 13 年 11 月 10 日)

清流よ、よみがえれ!

「葛川をきれいにする会(仮称)」始動!

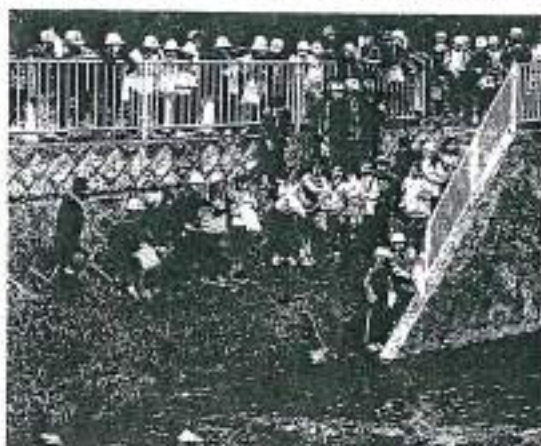
失われつつある葛川の自然環境の復元と、水質保全を図るため、ボランティアアグルー

ブ「葛川をきれいにする会(仮称)」が発足し、十月十三日に、第一回の清掃活動が実施されました。



回収したごみには、コンクリート片や自動車のバッテリーなど、本来あってはならないごみも少なくありません。会では、今後も町や県と協働して活動を進めると同時に、ともに活動していただける仲間を募集しています。あなたの持っている力と時間を地域に還元してみませんか?
問い合わせ ☎ 72-6084
向後さんまで

故郷の川をきれいにしたい



故郷の川がきれいになるようにと、レンガ玉を投げ入れる子どもたち

卒業記念、六年生全員が手作りのレンガ玉を葛川に

「いち、にーの、さん」「せーのー」と子どもたちの掛け声が響く。児童の手を離れた野球ボールほどのレンガ玉が、ゴシャゴシャと音をたて川に沈んでいく。学校から徒歩で十分ほどの場所に流れる葛川。しんでんばしの袂の川底には、蒸気色したレンガ玉がきれいに並んだ。二宮町立二宮小学校(福川卓司校長) 六年生全員による卒業記念活動のひとつ「レンガ玉で葛川を浄化しよう」のひとこまだ。

この取り組みは五年生の時から始められた。環境にやさしいといわれるケナフについて調べると、この植物がいろいろ

ろと利用できることを知り、ケナフを使い「卒業証書を作りたい、ケナフの葉っぱを天ぷらにしてそばを食べよう、炭団を作り、川を浄化したいなど、三つのアイデアが持ち上がりました」と話す。

六年四組担任の高橋繁夫先生は「ケナフで卒業証書を作りたい、ケナフの葉っぱを天ぷらにしてそばを食べよう、炭団を作り、川を浄化したいなど、三つのアイデアが持ち上がりました」と話す。

イスされたのがきっかけ。炭団のメンバーと子どもたちは炭を叩すのよう

に丸めた炭団を試作。ところが……。水に入れた炭団が崩れてしまう。色も灰色で、予想していたものとまるで違い、頭を抱えることに。教師らは情報をかき集めに走り回る。葛川河口河川開、信州大学、佐久総合病院などに問い合わせをしたところ「炭団は石灰の粉に炭を着火剤として混ぜて

圧縮したもので、焼いて作るものではない」ことが判明。ようやくレンガ玉にたどりつく。レンガ玉は粘土のなかの炭が燃えることで細かい無数の穴があき、その穴に微生物が住みつきたり、水が酸素となり酸素を増やす。ゴミを多少は受け止めるなどの効用がすでに知られている。

眠れない日もあったという高橋先生は、「これだけのことをやり遂げたのだから、自信を持って卒業してほしいし、心に残る取り組みができてうれしい」ときっぱり。春の卒業式。六年生の手にはケナフ製の卒業証書が握られているはずだ。やり遂げた自信を顔に宿して……。

マリモのようになり並び、真つ白な泡が立ち昇った

「いよいよベンジがはじまったと思いましたが」といのは福田真由美先生。材料となる炭、炭の戦、灰、陶器用粘土を用意し、水を加えてこね合わせて丸めた。「この炭を焼くのが実際やってみると大変で、子どもたちは顔や手を真っ黒にしながら焼いていました」と高橋先生。水を加減しながら加え、腕が重たくなるまで練った。どうにか一人四個を目安に玉をつくり上げ、

日陰で一週間乾燥。学校にある焼き釜で焼いた。途中、ガスの元栓を締められて燃の火が消えてしまい、慌てる一幕もあったが、川に入れるわずか二日前に焼き上げることができた。完成したレンガ玉はきれいな蒸気色で、硬さもちょうど良く、先

生方はこれなら大丈夫と胸をなでおろしたそうだが、十一月十七日、この日集まった六年生百二十二人が、グループごとにレ

「炭団作りは大変だったけど、すごくいいことをしたと思う」と話すと子どもたち。

二級河川である葛川を管理する県に対し、レンガ玉を入れる交渉役を買って出た「葛川をきれいにしよう」のメンバーの

二宮小学校葛川浄化活動〔～レンガ玉投入～〕



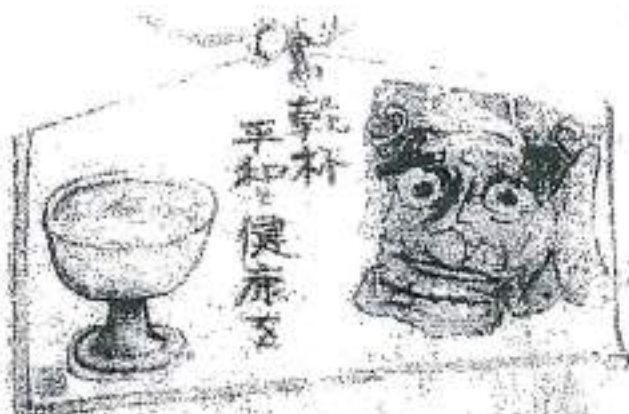
平成14年1月19日(上)

2002年は

新発想の年

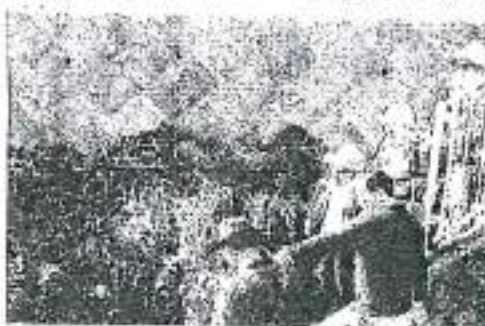
新年の「思い」を教育、環境、農
業、IT、文化、健康などの人た
ちに聞きました。順に紹介予定で
す。

カンナ倶楽部
(平成14年1月)



葛川をきれいにする会
代表 向後孝明

二宮町の皆様、新年明けま
して、おめでとうございませ
す。葛川の清掃活動は12月、1
月、2月と冬期三ヶ月はお休
みとしておりますが、会合は
毎月1回行われており、着々
と3月からの活動再開準備の
ためスケジュールの策定、会
則の作成、役員選任、学習会、
関係先との折衝など、結構忙
しい思いをしております。昨
年10月より実践先行わずか
三ヶ月あまりの間にこのカン
ナ倶楽部はじめ広報にのみ
や、タウンニュース、相模朝
日などに報道されて少し名が
知られるようになりました。
本年の活動が名実共に正規の
活動スタートの年になりま
す。期待に恥じないよう皆様
の目に見える形の成果を出し
て行きたいと思っております
(約30名)と賛力ではいか



にも非力です。皆様の参加
と協力を是非ともお願い申
し上げたい。葛川がきれい
になるということはどんな
に素晴らしいことか是非想
像していただきたい。これ
は町づくりの一つの解答な
のです。
寒風にもめげずに川
の浄化に2回目の挑戦
する二宮小の子ども達



1人ずつ手作りのレンガ玉を洗める

「葛川の水 きれいになーれ」

二宮小学校の生徒たちがレンガ玉を手作り

昨年十一月、二宮町立二宮小学校六年生たち
の卒業記念活動が話題を呼んだ。これは川の浄
化作用があるとされる「レンガ玉」を作成し、
葛川に沈めるといふもので、環境問題を取り入
れた充実した活動となった。「もつと川をきれ
いにするためにレンガ玉の数を増やしたい」
そんな子供たちの気持ちから、今度は二年生も
参加し、活動は再び行われることとなった。

を完成させた。
一月十九日、葛川一しん
でん橋付近には、手作り
のレンガ玉を手にした生徒
たちが続々と集まって来た。
生徒たちが無事にレンガ玉
を沈められるよう、地元
ボランティア「葛川をきれ
いにする会」(向後孝明会
長)も川整備や投げ込みの
サポートに協力した。「せ
いの／＼」と思を合わせ川に
投げ込む生徒や、ゆっくり
と水に沈める生徒、投げ込
んだ一つひとつのレンガ玉
には、生徒たちの川を思う
気持ちが込められている。

タウンニュース (平成14年2月1日)

● 第7回「葛川清掃」

日時：平成14年3月2日（土）AM9:30～PM12:00

場所：新西谷戸橋～清水橋（桜祭りに備えて）

（集合場所：清水橋）

参加：19名（飛び入り5名）



...before



...garbage

【作業記録】

・可燃物24袋、ペットボトル1袋、かん1袋

● 第8回「葛川清掃」

日時：平成14年3月16日（土）AM9:30～PM12:00

場所：新西谷戸橋～清水橋（桜祭りに備えて）

（集合場所：清水橋）

参加：13名



枝を改修できる大きさにノコギリ等を使ってまとめる作業



【原付きバイク】の回収は県にお願いします

ゴミの分別作業

【作業記録】

- ・可燃物13袋、ビン・ガラス1袋、かん1袋
- ・雑木系24

花見前に葛川の大掃除！

葛川サミット構想の原動力に。



提供:高木

**新西谷戸橋から清水橋間
葛川をきれいにする会の活動が始まる。**

今年はやや暖冬で桜の開花など26袋、他に雑木刈、も早まりそうです。例年草取りも行い、成果は多大年ライトアップされて、今後、毎月第一、花見の人で賑わいます。第三十曜日に行います。参加者が多いほど楽に成「葛川をきれいにする会」では花見前に大掃除が3月2日、3月16日実施しました。尚、中井町、大磯町を含め葛川非会員5人、新入会員3人を含めて総勢19人で9時30分〜12時までおこなわれました。取種は？ペットボトル、空き缶、可燃物

果が挙がるというものは、ご協力をと前後会長は話していた。尚、中井町、大磯町を含め葛川サミットを企画しているが、これも住民の運動が大いに支えになっていると古澤町長が話された。

葛川をきれいにする会 清掃スケジュール (4、5月分)

月/日	実施場所	備考	※時間AM9:30~12:00
4:6	北根橋1~向根橋3間	桜まつり	※前日大雨、当日雨天強風の場合は中止とし、清掃場所は順延。
4:20	向根橋3~前田橋4間		※集合場所は各上流橋側
5:4	前田橋4~新西谷戸橋5間		※問合せ先:72-6084 向後宅
5:18	清水橋6~葛川橋7間		

(参加者はゴム手袋、ゴム長、タオルなど、各自ご持参下さい。)

カナナ倶楽部 (平成 14 年 3 月)

● 第9回「葛川清掃」

日時：平成14年4月6日（土）

AM9:30～PM12:00

場所：上北根橋～向根橋（二宮町境）

参加：20名（中学生1名含む）



【作業記録】

- ・可燃物6袋、ビン・ガラス1袋、かん3袋
- ・プラスチック10袋、枯れ枝・金属類、20袋くらい、その他

● 第10回「葛川清掃」

日時：平成14年4月20日（土）
AM9:30～PM12:00

場所：向根橋～前田橋

参加：25名（小人4人含む）

○点呼確認→



【作業記録】

- ・可燃物12袋、ビン・ガラス1袋、かん2袋
- ・竹・枝、ポリタンク、消火器、バッテリー（写真上）

【謝辞】

- ・近隣にお住まいの方からご寄付をいただきました。ありがとうございます。
- ・飲み物の差し入れがございました。ありがとうございます。

町の助役さんも作業に参加！

回を重ねる度にひろがる活動。

4月の二回の活動の中で、嬉しいことがあった。それは中学生が何人か参加してくれたこと、そして、地域の方からカンパや差し入れを頂いたことで、会員とすれば、この様に地域の人たちの理解が広がっていることがなにより嬉しい。やはり、やり続ける事が理解を広げる唯一の手段とは当日参加者の感想。

五月四日(土) 前田橋、新西谷戸橋(集合)
五月十八日(七) 清水橋、葛川橋(集合)
毎月第一、第三、土曜日9時30分〜12時
下流側橋集合、近隣住民の方飛び入り協力歓迎、入会歓迎します。
現在、正賛会員数三十九名に増加、二宮町池田助役も正会員として入会、清掃作業に参加。去る四月十三日総会開催、平成十四年度予算・予定決定。清掃

第五回以後清掃スケジュール

葛川をきれいにする会

・美化スケジュールの他、湘南工科大学生の単位ボランティア受け入れ、水質浄化のためEM発酵液の打越川上流投入実験、川に関する学研会の開催、定点草刈り作業の追加などを新たに決定。なお、スケジュールは広報にの

みやお知らせ版じょうほう館にも毎月掲載される。年間スケジュール、清掃場所マップご要望の方は会の方へご連絡下さい。葛川をきれいにする会
代表 向後まで
電話 (72) 3767
(72) 6084
なお、会のホームページ
<http://www.olva.org/kuzek>
swa/ になります。

カナ倶楽部 (平成 14 年 4 月)

● 第11回「葛川清掃」

日時：平成14年5月4日（土）
AM9:30～PM12:00

場所：前田橋～新西谷戸橋

参加：24名（小人2人含む）



原付きバイク

扇風機

耕作機器の
タイヤ？

やはりバッテリー



【謝辞】

●近隣にお住まいの方が、水道をお貸しくださいました。ありがとうございます。

●町長さんも飛び入りで、清掃活動にご参加くださいました。ありがとうございます。

●みかんの差し入れがございました。ありがとうございます。

【作業記録】

- ・前田橋：可燃物13袋、ビン・ガラス1袋、かん（金属）2袋
- ・新西谷戸橋：可燃物（木材）11袋、ビン・ガラス1袋、かん（金属）2袋



子どもたちが泳いだり、魚を獲ったり…。葛川の蘇生が楽しみ



葛川から土浦町まで、市民代表の手配で活動中

「葛川をきれいにする会」=二宮町

清流復活、広がる市民の輪

町長も飛び入り参加



清掃中にもかかわらずこの日は二十四人が参加

「連休中だから参加者は少ない、かもしれませんが」と、取材申し込みの時に話していた同会代表の向後孝明さん。活動当初は十一人だったメンバーは現在ほぼ四倍増になり、会員以外にも飛び入りで参加する人もいます。その日は十七歳からじじいまで、高校生から会社員、農業者、主婦などとき

まざまな男女。作業は毎月第一、第三土曜日の午前中。あらかじめエリアを決めて作業する。うす曇りの当日、清掃場所は新西谷橋から前田橋の間。到着したときはすでに多くのゴミが拾い集められていた。拾ったゴミは可燃、不燃に分けていく。葉子の空き缶などはこの吸い取り機で吸い取り、トタン板やバッテリー、「土流にはオートバイも落ちていましたよ」と向後代表。この辺りは川の上流。見きれいにみえる。「水質は比較的きれい。ゴミも見た目はたしかに少なそうですが、拾い集めると多いんですよ」。

この日の参加者は二十四人。その中に古澤吉郎町長、徳川孝介助役の姿も。古澤町長は飛び入り、他助役は会員という。てぬぐいを首に巻き、長靴姿の古澤町長は「葛川は二宮にとって母なる川。私も子どもの頃

川の蘇生にスクラム

向後代表は「我々が清掃する姿を見て、みなさんに少しでも関心を持ってもらえれば」と話す。会員が増えれば、川がきれいになれば、川がきれいになれば、もっと関心は高まるし、ゴミを捨てる人も少なくなるのでは」。

今回の作業からは湘南工科大学「藤沢市」の学生も受け入れる。これは同大の「社会貢献活動」のカーキユラムの一つとして同会の活動が認定されたため。地域と学生のユニークな交流が期待される。また来月からはEM菌の投入実験も行われる。EM菌は有用微生物群のことで、微生物の働きで水質浄化が期待できる。毎月、トンすつを投入予定という。

「元々きれいだっただ川を今の様な状況にしたのは社会や人間。再び元の姿に戻すのは大変な労力が必要です。しかも広域的な行政などとも関わってきます。私たちは純粋な市民ボランティアですが、これからは他の市民団体や行政とも広く連携して、葛川蘇生を実現していきたいですね」と向後代表。

折しも海老名市内を流れる目久尻川にアユが戻ってきたことが話題となっている。かつては魚がすめない川の「代名詞」ともなっていた川だが、市民らの地道な清掃活動などで蘇生した。葛川の蘇生が楽しみだ。

● 第12回 「葛川清掃」

日時：平成14年6月1日（土）
AM9:30～PM12:00

場所：葛川橋～軒吉橋

参加：24名

（飛入り6名、小人1人）



大きなカメ



タモロコ発見！



コンクリートごろごろ



コンクリート片



軒吉橋下のH鋼跡



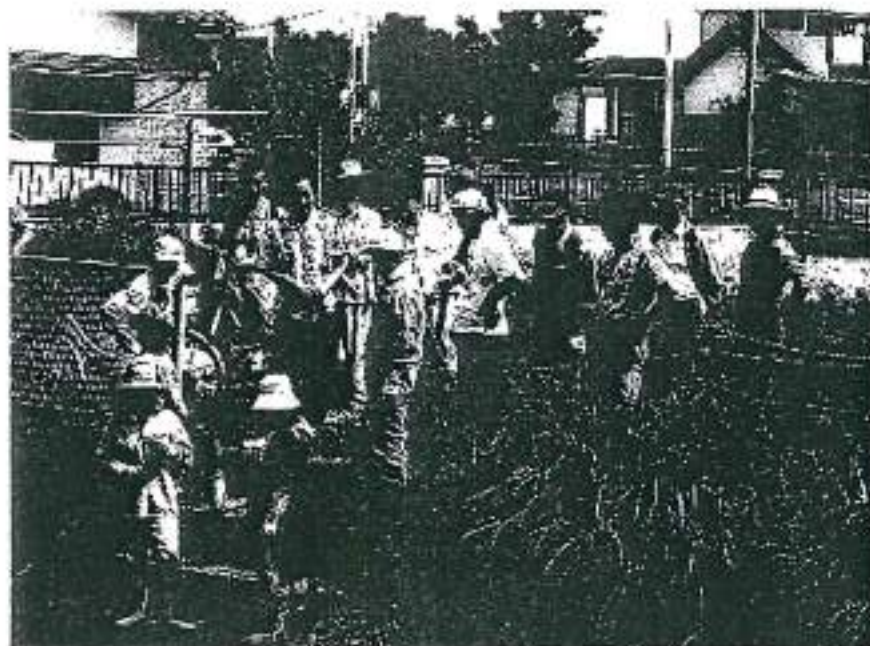
草刈り



警察に届けました...



状態のいい自転車



葛川には、コンクリート片がとても多い。あまりの重さに、引き上げ作業は困難を極める。

【作業記録】：可燃物11袋、ビン・ガラス2袋、かん2袋、電池1袋、金属系ゴミ1山、木材1山、陶器1袋、自転車1台（写真一部「素晴らしい町 二宮」から）

● 葛川ウォーク

日時：平成14年6月8日（土）
AM9:40～PM12:00

場所：中井町の葛川上流から巖島神社



コンクリートブロック河川に落ち込んだ蛇や水生生物は、上にあがる場所を探しながら下流へ、下流へとゆっくり流れてゆく。ヒトが生物との穏やかな共生関係を築くためにも、多自然型・近自然型の河川工法の在り方が求められている。



田植えの季節



水質のチェック



水に触れたい...



葛川上流付近にある巖島神社湿生公園。中井町の湿地整備事業によって湧水が復活し、葛川の水質も本来の状態に回復しつつある。



● 第13回
「葛川清掃」

日時：平成14年6月22日(土)
AM9:30~PM12:00

場所：軒吉橋～萬年橋

参加：24名（飛び入り2名前）



化石が出たぞ！



犬のフンがたいへん



草刈り



自転車



エンジン



金属系のゴミ



【作業記録】

- 可燃物19袋、ビン・ガラス1袋、かん・金属7袋、セトモノ類1袋、金属投棄物2山、コンクリート塊2山
- 自転車3台、自動車エンジン1個、その他
- 土手に犬のフンが多く、ゴミを拾うのがたいへん。
- 大きなミドリガメを発見。他にも化石発掘。
- 萬年橋から貝ヶ窪橋まで、兩岸の土手を草刈り。
- ご近所の方の飛び入り参加。ありがとうございます。

● 第3回「二宮小学校葛川浄化活動」 ～炭団投入～

日時：平成14年6月26（水）PM3:00～PM4:00

場所：新田橋

小雨の中、二宮小学校3年生と5年生による第3回「葛川浄化活動」～炭団投入～が行われました。

投げ込まれた炭団（たどん）は、直径5cm程の大きさで、多孔質性の浄化作用がある炭をこねて団子にしたもの。それをさらに、水質を浄化する有用微生物群（EM菌）に漬けました。

「葛川きれいにな～れ!!!」。子どもたちの大合唱で、元気よく投げ込まれた「たどん君」。七夕の夢は、きっと叶います。

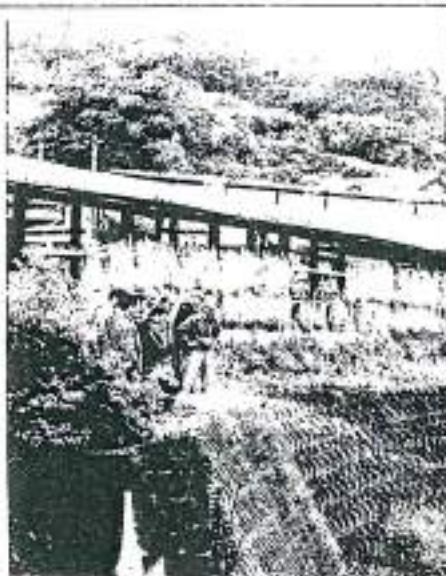


「葛川きれいにな～れ!!!」



始まった、EM浄化プロジェクト

葛川をきれいにする会の水質浄化部会（責任者 中村隆一氏）では、EM活性液の定期投入を開始した。



これは向こう6ヶ月間、水質調査部会（責任者 榎・成氏）と共同で毎月の変化を見ながら実施してゆくそうである。

既に各地で実績があり、河川浄化に威力を發揮することを会では期待している。

尚、浄化部会でも米のとき汁発酵液の作り方も指導するので、希望者は中村氏の携帯電話 09048202753 へ連絡すると良い。

同部会では4月下旬から準備していた、EM活性液を定期的に用への投入を開始し始め

同部会では4月下旬

から準備していた、EM

活性液を定期的に用

への投入を開始し始め

カンナ倶楽部（平成14年6月）

● 第14回 「葛川清掃」

日時：平成14年6月29(土)
AM9:00~PM12:30

場所：清水橋の途中～葛川橋
(参加：20名)



まわりをフェンスで囲まれた葛川橋上流側は、立ち入ることの難しい秘境。いろいろな素材と種類の生産物が、じっくり歴史を持って蓄積されなかなか賑やかにやっています。



巨大なコンクリート塊。H鋼は、コンクリート護岸の基礎？。簡便を優先し鉄骨をまくら木のように敷くことで基礎とし、護岸の沈下を防ぐ意図があったようです。



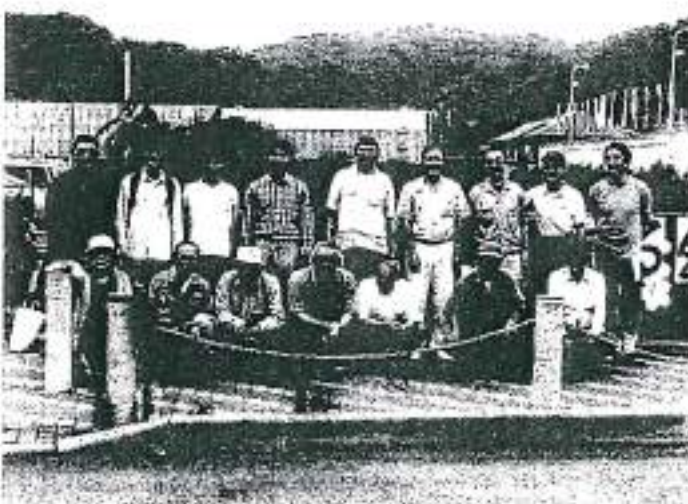
コンクリート塊に
ロープをかける係り



引き上げる係り



膨大なコンクリート



サッカーワールドカップの勢いが乗り移った
葛川サポーター

【作業記録】

●可燃物10袋、ビン・ガラス1袋、かん1袋、自転車1台、金属屑2山、コンクリート片2山

【補足事項】

●ゴミの量が多く、作業予定の半分でいったん終了。草刈り作業も。(作業時間を延長)

●コンクリート片は、一部回収。巨大なものは、人力による引き上げ不可能。

●H鋼の状態も要検討。

●葛川橋下の2箇所(百合が丘・中里方面)から流れ込む生活排水。

清流「葛川」よ、甦れ！

再生のカギは住民の協力が決め手。

葛川をきれいにする活動、第二段階

専門家による水質調査、EM液の定期投入、二宮小のごちも達の浄化用だんごの投入等。

葛川をきれいにする会（代表 向後孝明氏）では既に十数回の清掃・美化活動を行って実績と住民の理解を広げている。



五月三十日には地元在住で水のエキスパート、細谷氏の協力で、同後代表、竹原副代表が同行して葛川の三ポイントの水質調査を実施した。その結果、予想以上に水質の汚染がひどいのに愕然とした。これほど汚染した川は珍しいと細谷氏の話。

橋本茂（初れの会代表）は神奈川県下の河川の平均値60～85ppmを大きく上回る125ppm、これは川が本来持っている微生物等による自然浄化機能が全く働いていないと評することでのままでは全くの「死の川」になって終う。また、井の口の鎌島神社の湧水も硝酸態窒素が80ppmと異常に高い数値で池全体に緑藻が繁殖している状態にこの地域の自治会長も憂慮していた。

この湧水がどんどん葛川に流れ込んで清流化に役立つであろうという期待は、この浄化活動が先決だと言うことになった。

状況は深刻ですが、有明海を「死の海」から救おうとする婦人会中心の運動が大きな成果を挙げていること、県下でも海老名市がかき殻を投入するなどの市民の努力で鮎

が漂流してくるようになってきたこと、そして、宮町でも葛川サミットで問題点を浮き彫りにする努力など、葛川をきれいにする会を包み込む住民の力が徐々に盛り上がりつつある。

ます。皆さんも自分に出ることを、例えば洗剤の使用を抑えて米のとき汁発酵液を使うなどで、日も早く生活の川「葛川」を守りましょう。

カンナ倶楽部（平成14年6月）

● 第15回「葛川清掃」

日時：平成14年7月6日（土）
AM9:00～PM12:30

場所：萬年橋～妙見橋

参加：22名（子ども1人、取材記者1人含む）
その他5名は水質調査



○わがまち「マディソングンの橋」→
（ここから富士山も見えます！）



M橋わたる草刈り隊



夏のザリガニ



日陰のお休み



街灯ポール



原付バイクの動力部



金属系のゴミ

街灯ポールは、おとな5人がかりで、なんとかここまで持ち上げました。対応を町と相談します。妙見橋下に集中する金属パイプ系の廃棄物。



【作業記録】

●可燃物20袋、ビン・ガラス1袋、かん2袋、金属屑大盛り2山、原付きバイク1台

【補足事項】

●今日は「金属の日」。妙見橋下に、パイプ系の金属ゴミが集中する。
●照明に使われる街灯ポール。引き上げ途中断念、後日町とご相談。
●他、ザリガニ発見、CATV取材。

（写真一部：「素晴らしい町二宮」）

● 第16回「葛川清掃」

日時：平成14年7月20日（土）AM9:30～PM12:00

場所：妙見橋～花月橋

参加：19名（子ども1人含む）



黙々と、ただ黙々とゴミをひろう。



原付きバイクの
動力部



鉄道関連？の車輪



枝の伐採



【作業記録】

- 可燃物10袋、ビン・ガラス1袋、かん1袋
- 金属屑大盛り2山
- 原付きバイク1台
- 自転車1台と半分？
- 伐採した木の枝、大盛り1山
- 花月橋から妙見橋まで草刈り

【補足事項】

- 今日も「金属の日」。
- 河川敷きをゴミ置場として利用していた箇所あり。
- 梅雨明けの猛暑。
- 近隣の方が差し入れてくださいました。ありがとうございます。

葛川の清流化は3町の願い！！

【特別寄稿】 葛川サミットの発足にあたって！ 二宮町長 古澤吉郎

葛川サミット」発足総会



の北二宮町のほぼ中心を
中井町に流れる葛川は、
不動の河口部は、大磯町
のへ流れて込む全長約7
kmの河川です。3日に、
葛川流域にある3町の
町長・助役が参加して
足利市を二宮町役場の
開催しました。3町の
広域行政の「環」とし
て、葛川の清流を復活
させること、葛川の清流を復活

中井町も厳島湿性公園の水質浄 化に調査費を予算化

「豊かな水、活力とゆ
とどまり共生する水と緑
を標榜する中井町は、
湧水地で葛川の源流を、
自然を復元し、個性地を
活かした公園として1
3年度から整備を進め
ている。この湧水の豊
富に流れる大きな力だ。
さらに、水質の調査
に予算を組み、改善に
取り組む行政の姿勢に
拍手を送りたい。」

用したまちづくりなど
に、目的として設
置したもので、会長に
は私が就任させていた
だきました。戦後の経済
成長により、河川沿いの
宅地化や生活様式の
変化などから、結果的に
汚染が進み、川の水質
が著しく悪化しました。
流復活は、今を生きる人
たちの責務であり、こ
れを将来に引き継ぐこ
ろは大変重要なことであ
ると考えます。清流を復活
させるとともに、

とにより、子供たち
に自然体験の場を提供
することができ、す
より「うるおい」や「
すらぎ」のある生活を
手に入れることもでき
ます。最近では、ボラ
ンティアの方々による
清掃活動も活発になっ
ており、小学生による
ガサやゴミ回収のレ
ンガ活動も心強い限り
です。サミットでは今後、
フオーラムの開催や3
町住民の方による「清
流を取り戻す会」(仮
称)の組織化などに、
取り組んで参ります。
が、この葛川に興味をも
つていただくように願
うものです。

カンナ倶楽部（平成14年8月）

環境グループ、さらにパワーアップ！ 実践型4団体が二環会を結成

町内の4つの実践型環境グ
ループ
①葛川をきれいにする会
②有機の会
③二宮町ケナフの会
④二宮ふるさと炭焼会
がこの度、二環会を結成
した。会長には田中克己氏
を選任し、グループ間の情
報交換、活動への相互協力、
環境問題の啓発、町民への
連帯などに総合力を発揮す
る。
田中会長によると、環境
問題にたいして、自ら頼
りて活動しているボラン
ティアグループの集まりで、
その内容はそれぞれ違つて
も、環境を良くしたいと言
う目標は同じです。会とし
てはお互いに足らざる所を
補充し合い、多面的・総合
的に協力することで強力な
パワーを持つ会にしたいと
考えています。
そのためにはより多くの
実践活動しているグループ
の参加を期待しています。

● 第17回「葛川清掃」

日時：平成14年8月3日（土）AM9:30～PM12:00

場所：花月橋～内輪橋（ラディアン近く）

参加：24名（飛び入り参加2名、中学生1人含む）



【作業記録】

●可燃物10袋、ビン・ガラス1袋、かん2袋、原付きバイク（動力部）1台、自転車1台、その他（包丁、サイフ）

●花月橋から内輪橋まで草刈り

【補足事項】

●今日は「カケラ陶器の日」

●比較的ゴミの少ないエリア

●水の透明度は高い印象

●猛暑

● 第18回
「葛川清掃」

日時：平成14年8月17(土)

AM9:00~PM12:30

場所：内輪橋～倉田橋

参加：19名



原付きバイク引き上げ物語り



まるで発掘現場となった自転車墓場...



【作業記録】

●可燃物7袋、ビン・ガラス1袋、かん1袋、鉄屑、その他。

●自転車5台、原付きバイク1台。

●新幹線下の軒吉橋から下流に向かって草刈り

● 第19回「葛川清掃」

日時：平成14年9月21日（土）

AM9:30～PM12:00

場所：倉田橋～こゆるぎ橋（北口商店街付近）

参加：21名

（飛び入り参加1名、中学生1人含む）



レンガ玉！



原田橋ワールド



引上げは橋の上

橋脚の膨大な...！

自転車4台！

バイクのタイヤ



【作業記録】

- 可燃物21袋、ビン・ガラス3袋、かん4袋、ペットボトル1袋、バッテリー、電池、他
- 樹脂系のゴミ1山、金属系のゴミ1山
- 自転車4台、ネコの死体、バイクのタイヤ、ラジカセ、他

【補足事項】

- 雨で中止になった「倉田橋～川窪橋」（9月7日分）も今回清掃。
- 葛川最大の難所、JRガード下の世界。
- ゴミの量は過去最高を記録。
- 川窪橋橋脚に大雨で流された枝やゴミ、あらゆるものが蓄積。

● 第20回「葛川清掃」

日時：平成14年10月5日（土）

AM9:30～PM12:30

場所：新田橋～こゆるぎ橋（北口商店街付近）

（集合場所：新田橋）

参加：11名（飛び入り参加1名、中学生1人含む）



鍛冶屋橋、2本の橋脚の手前の1本に、上下に大きな亀裂が入っている。



真新しい自転車

とっても古い自転車

分別作業は重労働！



【作業記録】

●ゴミ袋23あまり（燃えるゴミ、樹脂系ゴミ、ビン、カン、電池、ペットボトル、他）

●自転車3台

●鉄屑1山

●その他（おもちゃ？の刀、ふとん、他）

【補足事項】

●予定の「こゆるぎ橋～塩海橋」を変更し、「新田橋～こゆるぎ橋」まで。

●栗入りどらやきの差し入れ

● 第21回 「葛川清掃」

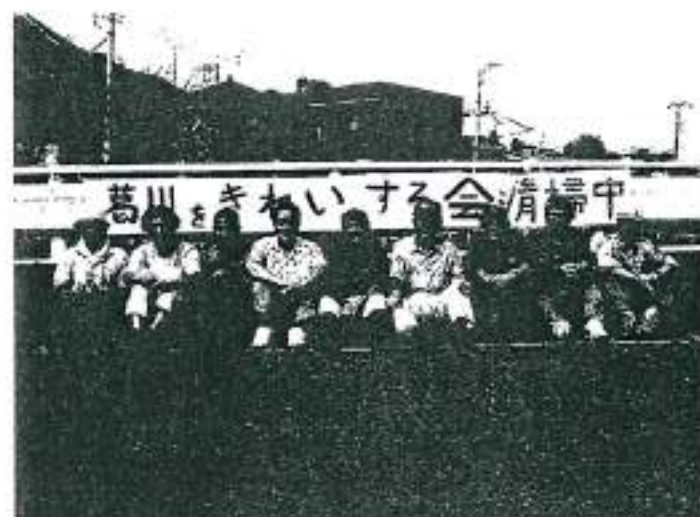
- 日時：
平成14年10月19日（土）
AM9:30～PM12:30
- 場所：
塩海橋～下浜橋（大磯近く）
- 参加：11名



お手製の横断幕

集積所の選定は
いつもたいへん

死骸のような自転車



【作業記録】

- 可燃物25袋、ビン・ガラス1袋、かん1袋（下浜橋付近の集積場所2箇所の合計）
- 鉄屑「超」大盛り2山
- 自転車1台
- その他（バッテリー、カサ、他）

【補足事項】

- 今日は「重量級金属の日」。
- 風景はとてものどかで、親水性計画予定地として候補にあげたい。
- 絵になる橋があれば、落ち着いた雰囲気をつくれる場所。

● 「二宮小学校葛川清掃」 with 二環会

日時：平成14年10月30日（水）PM1:30～PM3:00

場所：3箇所の遊歩道（新田橋・萬年橋・葛川橋）

参加：小学3年生の児童104名・保護者17名・二環会5名



ゴミ拾いの前に、二環会から葛川をきれいにする会のメンバーが葛川の現状を説明。



秋の陽射しがこちよい。保護者の方も参加。



小学校に戻ってきました。これから分別作業をはじめます。



子どもたちは分別に熱心。先生に確認しながらどんどんゴミを分けていきます。

葛川きれいになあれ！

二宮小3年生が遊歩道を清掃

先月30日、二宮小学校(日黒一校長)の3年生が、葛川遊歩道の清掃を行った。二宮環境の会(田中喜巳会長)の協力があつたほか、子どもたちの保護者も参加し、親と子、そして地域の人々が



みんなで協力しあって、きれいな川に

「きれいな葛川」のために手を取り合った二日となった。天気にも恵まれた当日は、万年橋付近遊歩道・新田橋付近遊歩道・西友駐車場の西側遊歩道の3班に分れて活動を開始。1時間ほどかけて

ゴミを拾った後、きちんと分別して清掃は終了。活動を終えた子どもたちは「ゴミを出さないことが大切なんだ」と実感していた。

同校の3年

生は、「もっとやさしく」を学年テーマに掲げ、これまでにも「宮ふしぎ発見隊」として、さまざまな活動を行っている。今回の清掃は、10月18に行われた葛川水源地への減炭で、葛川に家庭の排水が流れ込んでいる実態や中流域から上るにつれて川がきれいになっている事実などを知ったことが、きっかけとなった。

日黒校長は、「これらの学習の中で地域を愛し、自分から地域をつくっていくという気持ちや基礎的な力が育つてくれることを願っています」と話している。

タウンニュース (平成14年11月15日)

● 第22回「葛川清掃」

日時：平成14年11月2日（土）

AM9:30～PM12:40

場所：下浜橋～大磯町境（新宿橋まで途中）
（集合場所：下浜橋）

参加：13名（中学生1人含む）



塩ビパイプ・樹脂系

ビデオデッキ

金属系のゴミ（自転車）



【作業記録】

●可燃物13袋、ビン・ガラス2袋、かん6袋（集積場所：下浜橋付近）

●樹脂系パイプ大盛り1山

●鉄屑系ゴミ大盛り1山

●自転車1台

●その他（ビデオデッキ、原付きバイクのハンドル、他）

【補足事項】

●今日は「塩ビ・樹脂パイプの日」。

●分別作業を徹底。

●これから先、大磯はまだ知らない自然の風景が広がる。

● 二宮小学校総合学習 「EM団子づくり」

～ 葛川きれいになるなる団子～

日時：平成14年11月15日（金）PM2:00～PM4:00

場所：二宮小学校校庭

参加：小学2年生、小学5年生、二環会で、約200名

*EMとは、有用微生物群（Effective Microorganisms）の頭文字をとった略称。いろいろな種類の善玉菌をブレンドした「人と地球に役立つ微生物たちの集まり」です。



灰色の土：粘土
黒色の土：黒土+炭
ポリ容器：EM活性液



大きなプラスチック容器に
黒土と炭焼会提供の炭を入
れ、その上に粘土を混ぜる。



この白い粉は、EMのセラ
ミックス粉末。さらに加え
ます。



だいたい混ぜたところ
で、EM活性液を加えま
す。生地！？完成！



子どもたちがバケツで取り
に来て、それぞれのグルー
プに運びます。



いろいろなグループが校庭
に広がって「団子づくり
だ！」



「わい、わい、わい」



てのなかの地球



陽陰干し1ヶ月

● 第23回「葛川清掃」

日時：平成14年11月16日（土）

AM9:30～PM12:00

場所：倉田橋～川窪橋（北口商店街付近）

（集合場所：新田橋）

参加：13名（中学生1人含む）



消火器



三角停止版



倉田橋の集積所

【作業記録】

■可燃物13袋、ビン・ガラス2袋、かん1袋、セトモノ類2袋、（集積場所：原田橋奥、倉田橋の2箇所）、■樹脂系パイプ1山、■鉄屑系ゴミ1山、■その他（傘、電池、三角停止版、消火器、他）。



ひ街 大根中の やったね！ 大根中の 大根川クリーン作戦

(秦野市)

秦野市立大根中学校では今年度の総合的学習として「大根川クリーン作戦」と名付けた清掃活動を行っていきます。これは自分たちの学校の近くを流れる川をもっときれいにしたいとの生徒からの声によるものです。

大根川は生活排水が

混入し、市の水質調査でもダントツのワーストワン。その川も「ボケらのおじいちゃんたちが昔は泳いで遊んだ」というほどきれいだった



クリーン作戦に参加した生徒たち

市内葛川の河川浄化の方法を市民グループから直接受け取るなど作戦をたてました。十一月七日はクリーン活動の三回目。東海大学駅前

ただそのう。事前

学習では環境保全課の職員と市内の現況を調べ、本紙110号で紹介された一言

付近が中心。メンバーはとも元気な二年生の男子九名と障害児学級の生徒が応援参加です。ゴム手袋、ゴム長靴姿で、くるぶし程の深さの中へザブザブと入って行きます。わずか一時間ぐらいで手にしたごみ袋が一杯い。この日の「収穫」は空き缶、ペットボトル、鉄屑など。中には自転車の部品、バッテリー、一帖程のビニールシートなど明らかに「捨てた」という行為が感じられる物も。場所柄が、学生やおとなは「オヤッ？」と見ながらも通り過ぎる人が多く「君たちの勝ち！」と記者も大いに反省しました。

(清水貴子記)

相模朝日 (平成 14 年 12 月 2 日)

● 二宮小学校総合学習 「葛川きれいになあれ！」絵看板取り付け

with 二環会（にのわかい）

■日時：平成14年12月11日（金）AM9:00～PM0:00／■主催：二宮小学校／■協力：二宮環境グループの会／■指導：西島さん／■制作：二宮小学校3年生／■場所：新田橋／■参加：小学3年生（約100名）・二宮環境クラブの会（葛川をきれいにする会・炭焼会・ケナフの会から9名）

「葛川にみんなの力を」
（二宮小3年2組）



看板の搬入



小学生による
最終の固定作業



「よく描けてます」



こどもが笑って

「きれいな葛川とくらそう」
（二宮小3年3組）



「ここ、わたし描いたの。」



看板の設置



「きれいになるなる団子」



鳥が集まって

「葛川きれいになあれ」
（二宮小3年1組）



基本設置は二環会が



ナットまわしを
こどもたちに



「葛川きれいになあれ！」



さかなが泳いで

●「二宮環境グループの会」も頑張りました！

■看板の骨組み、基礎の作成（助っ人：西島さん）／■看板の搬入（高さ：900、幅：3600）／■看板の設置（仮止め）／■小学生の設置補助（本締め補助・安全対策）



西島さん（写真右）の入念な準備



炭焼会のメンバーも



看板の基本設置



ケナフの会からも

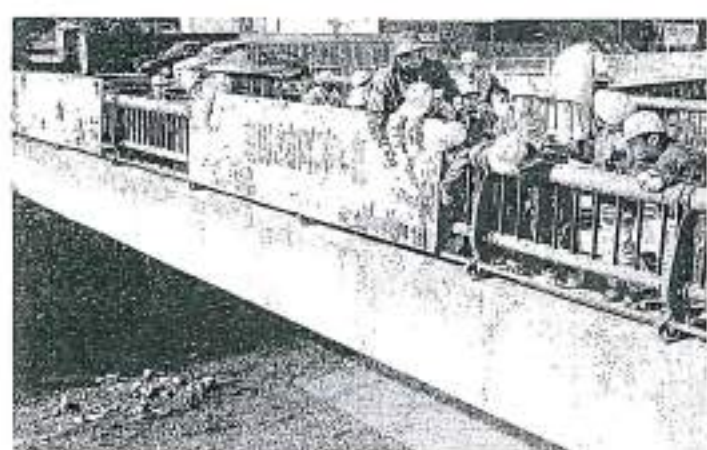


葛川をきれいにする会から



「きみたちこそ、ありがとう」

「葛川きれいになあれ」



身延川を守ろうと、二宮町立二宮小学校（二宮町二宮）の三年生約百人が十一日、町内を流れる葛川にかかると、環境美化を呼びかける手作り看板を設置した。四月から総合学習として取り組んでいる「互川の浄化活動」の一環、三年生はこれまで、川の橋梁も山沿いの遊歩道の剪草活動などを行ってきたが、環境問題を学んできた。

（佐藤 育子）

二宮小児童が手作り看板 環境団体も手助け

子供たちは「川をきれいになあれ」のメッセージをたくさんの人に伝えたい」と、看板の設置を希望。クラスごとに、縦九十六、横三十一センチのA二サイズの看板に「葛川きれいになあれ」「きれいな葛川をくらそう」などのメッセージや、魚や鳥、草花、川で泳ぐ子供など「美しい葛川」を表現するカラフルな図柄を描き込んだ。

看板設置には、町内の四つの環境保護グループでつくった「二宮会」(にのわかい)、「田中忠三氏会」の葛川にかかる「新田橋」に手作りの看板を掲示する二宮小の児童たち。

二宮町 助

メンバー六人も協力し、子供たちと一緒に、遊歩道でもある二宮町二宮の「新田橋」の橋下に取り付けられた。

絵看板に葛川浄化のメッセージ

二宮町立二宮小三年生の取り組み。二宮町

冬の卒業が近づいた十一月十一日、二宮小学校三年生によって、葛川の新田橋に葛川浄化を訴える、枚の看板が掲げられた。

一年生の冬から葛川の浄化活動に取り組んでいた子供たちは、これまで自らの発案により、旧田中（発祥地と木炭の粉を土に混ぜた土）の葛川への投入、葛川堤防までの遊歩道、遊歩道の清掃などを行ってきた。今回は、さらに町の人にも葛川の美化を呼びかけようというもの。

川の浄化のため、有害物質を分解する働きのある「E.M.(有用微生物群)菌」を粘土もとの海に混ぜた「E.M.ダンゴ」を川に投げ入れ、

「きれいな川にしたいな、いやママを描いた」という、藤野啓博君(八)は「どんとんきれいな川になって、川で遊ぶよさになってほしい」と話していた。



「これはそれぞれ、一組一組川をきれいになあれ」「一組一組川をみんなの力を」「きれいな葛川をくらそう」。生徒からは「みんなの力がひとつになって看板を作ることができて、とてもうれし」という声が上がっていた。

「野谷 悦通(四)」

子どもたちの発案で実施

葛川・海岸の清掃活動

二宮町

「二宮町立二宮小学校（目黒廣一校長）で二月十九日、全学年の児童と地域の人たちが参加して「二小クリーンアップ作戦」が行われた。学校周辺や葛川沿い、海岸をみんなで清掃するというもので、子どもたちの提案で実現した。実際にみんなで体験することで、子どもたちのごみや環境に対する問題意識は高まっているようだ。」



一生懸命ごみ拾いに頑張る小学生たち

二小クリーンアップ作戦

「見て見て！こんなにたくさん拾ったよ。きれいになったのを見ると気持ちいいし、おもしろいよ」

一杯に詰まったごみ袋を自慢気に見せてくれたのは三年二組の高橋知也君と山崎雄平君。

学校を挙げてのクリーンアップ作戦は、彼ら三年生の発案。一年生のときから総合学習の一環としてEM菌タンゴの投入、環境美化PRの絵看板の制作・設置、ごみ拾いなどを通じて葛川の浄化活動に関わってきた。「どうせならみんなでやったほうが盛り上がるし、きれいになる。きれいになればごみを捨てる人も少なくなる」というのが呼びかけの理由。

この提案を受けて、児童会などで話し合いを重ね、学年ごとに清掃場所を決めて一斉に清掃活動をする。学校周辺、葛川沿い、海岸と、エリアも広がった。

当日は、春は名のみ、風が強くて肌寒い一日だったが、子どもたちは元気一杯。出発前、全児童の前で目黒校長が「五十年前の葛川は子供たちが泳いだり、水もそのまま飲めました。いまは汚れます。みんなで地域の人たちにも呼びかけて葛川を、

「二宮町をきれいにしよう」と呼びかけていたが、「五十年前がうらやましい。ここで泳げたら気持ちいいだろうなあ」（三年二組・河西龍輝君）という声も。

五年二組の北田百倉さんと成川友梨さんは「よくみるとたくさん落ちていて、とくにたばこの吸い殻が多かった。みんなが気をつけないと」と口を揃える。五年生も昨年十一月、葛川の源流を清掃するなど、葛川の美化活動に携わってきた。

PTA・全校児童が参加

今回の活動にはPTAや地域のボランティアグループの人たちも参加した。三年生の保護者は十数人の子どもたちと一緒に「ごみ」を拾った。その一人、河口妙子さんは「子どもの頃からこうした活動を通じて環境問題に関心を持つことは素晴らしい

いことだと思えます。残念ながらうちの子はそうでもないですが「笑」、ごみや環境について強い興味を持った子どもも多いようです。一緒に活動してみても、「たしかに普段は気がつきませんが、こうしてみると、ごみが多いですね。大人が自覚

しない」と。それと犬の糞が多いのも気になりました」と話す。

「葛川をきれいにする会」代表の向後孝明さんも参加。開口一番「いやー、人海戦術はすごいね（笑）。みんなでやればきれいになるんだよね」としみじみ。同会では一昨年の十月から毎月定期的に葛川の清掃活動を行っている。「学校側も協力して、こうした活動を行うのは大事。実際にやってみればいろいろなことが見えてくる」。

三年二組の加藤睦さんは「親はたまにやっただけではあんまり意味がないぞ、なんて言うけど、でもやらないと、もったいなく感じるし、実際にやってみて、ごみを捨てるのはいけないことだと、よくわかった」。清掃活動を通じて、子どもたちは、確実にごみや環境問題への意識を高めているようだ。

（鈴木 剛）

相模朝日（平成 15 年 3 月 3 日）

● 第24回「葛川清掃」

日時：平成15年3月29日（土）AM9:30～PM12:00

場所：新西谷戸橋～清水橋（ヤオハン裏、桜祭り会場）

（集合場所：清水橋）

参加：13名



上流で工事があり、水がにごっています。



【作業記録】

■可燃物8袋、かん1袋、鉄くず1山

● 第25回「葛川清掃」

日時：平成15年4月19日（土）AM9:30～PM12:00

場所：内輪橋～新田橋／北口商店街裏手

（集合場所：新田橋）

参加：32名（過去最高）

（ライオンズクラブ：14／葛川をきれいにする会：18）



【作業記録】

○ゴミ袋28（集積場所：新田橋）

■燃えるごみ13袋と2山、■樹脂系ごみ7袋と2山、■金属系ごみ5袋と2山、■陶器2袋、■電池1袋、■自転車2台、■看板2枚、■その他（ドラム缶、他）

【補足事項】

- ・ライオンズクラブさまから、胴長（どうなが：下は長靴、上までは防水布により腰までつかれる釣りの用具）。
- ・2002年8月に残された自転車基場「河原橋」の自転車が、2003年4月に引き上げられました。

● 第26回「葛川清掃」

日時：平成15年5月3日（土）AM9:30～PM12:40

場所：新田橋～鍛冶屋橋（北口商店街裏手）

（集合場所：新田橋）

参加：18名（小学生1人含む）



まずシブイ...



差し入れありがとう



もくもくと...



小学生も...



働き盛りも...



先輩も大先輩も...



【作業記録】

- ・可燃物13袋
- ・ビン・ガラス1袋
- ・かん4袋

【補足事項】

- ・何故か生活の生ごみが多い
- ・引き上げることのできなかった自転車が1台。2004年に持ち越しか？

● 大磯プリンスホテル合同清掃

大磯プリンスホテル社員が葛川清掃

大磯町「葛川をきれいにする会」も協力

夏の本格シーズンを前に、大磯プリンスホテルでは五月二十一日、近くを流れる葛川の清掃活動を行った。例年、有志社員のボランティア活動として実施しており、今年で二十一回目。ピーチだけでなく、周辺もきれいにし、宿泊客はもちろん、地域の人たちにも喜んでいただければ、「総務課・川岸孝之さん。この日は若手を中心に二十人が集まり、「水の公園」周辺の草刈りやゴミ拾いを行った。

また今回は葛川の上流、二宮町で葛川の清掃活動を行っている「葛川をきれいにする会」のメンバー八人も参加。「葛川をきれいにする」という目的は同じ、喜んで協力した。



みたつのグループが共同で葛川を清掃

ました（向後孝明会長）。回会では毎月一度の清掃活動



河川で清掃奉仕
地域美化に貢献

21日、大磯プリンスホテルの従業員と二宮町の「葛川をきれいにする会」の会員たち計30人が、大



磯町にある県立二水の公園」を中心に葛川の河川敷で清掃奉仕に汗を流した。毎年この時期にホテル従業員が行う地域美化活動に、今回は会員たちも参加した。川べりの雑草を刈り取り、川底からペットボトルや空き缶などを回収した。集められたゴミは4トトラックも台分になった。

朝日新聞（平成 15 年 5 月 21 日）

相模朝日

葛川河川敷の清掃作業に汗を流すホテル従業員



河川敷清掃で地域奉仕
◆大磯◆ 大磯プリンスホテルの従業員三十人が二十一日、ホテル近くを流れる葛川河川敷で清掃作業に汗を流した。地域奉仕の一環として毎年行っている。従業員たちは川沿い約三百メートルにわたって、草刈り機で雑草を刈り取り、くま手で集めて袋に詰め込んだ。この日は、二宮町の住民で結成する「葛川をきれいにする会」の会員八人も作業に加わり、川の中の瓶や缶、ビニール袋などを拾い集めた。

街
ふれあい

読売新聞（平成 15 年 5 月 21 日）

● 第27回「葛川清掃」

日時：平成15年6月7日（土）AM9:30～PM12:20

場所：下北根橋～前田橋（旧一色小学校分校）

（集合場所：前田橋）

参加：15名（草刈り3名含む）



みんなの笑顔100%



ヘビイチゴ



菜の花の種



モンシロチョウ



「なんじゃこりゃ～」



水の透明度高し



カルガモ



【作業記録】

- ・可燃物15袋
- ・ビン・ガラス2袋
- ・かん3袋

【補足事項】

- ・下流では、他3名が草刈。
- ・中井町に近い上流は、さすがに水の透明度は高いです。
- ・アメンボやチョウチョ、カルガモ。いろいろな植物。この季節は、生き物もげんき！
- ・2年目は、ゴミの量が気持ち少ない実感があります。

うれしい葛川の2話題
葛川サミットと梅沢海岸の大漁



珍しい口琴の合奏

6月15日(日)第2回葛川
ソークラムが中井町の厳島
緑性公園で(主催中井町、
二宮町、大磯町)開催され
た。葛川の流れを取り戻そ
うと昨年三町で葛川サミッ
トを結成、今回は2年目と
いうことになる。今にも降

り出しそうな梅雨空も元
気な子ども達の声に雨も少
しは遠慮した様子で、何と
か大降りにはさげられた。
先ずは三町々長を代表し
て尾上中井町長が挨拶さ
れ、続いてなぜか「宇宙語
講座」(巻上公一氏)が始
まり、子供たちも始めはキョ
トン。巻上さんが左右上下
の手振りと言声の熱演にこ
ども達も同調、やがてボロッ
ト・パイルシエフ氏も加わっ
て口琴合奏というセツシヨ
ンになる頃はずっかり盛上がっ
ていた。



イワシとサバを仕分け

イワシとサバの大漁

一方、今月上旬は梅沢海
岸で海が盛り上がるほどの
イワシとサバが押し寄せ、
長いこと不漁を嘆いていた
沿岸の漁師さんは思わぬ大
漁にでんでん舞い。
これも葛川をきれいにする
会が清掃活動を続けて
来た成果の現れと見るのは
筆者の微目か?

カナ倶楽部 (平成 15 年 6 月 15 日)

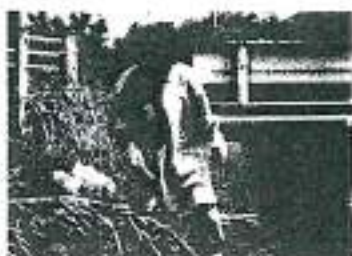
● 第28回「葛川清掃」

日時：平成15年6月21日（土）AM9:30～PM11:30

場所：前田橋～新西谷戸橋（ヤオハンから上）

（集合場所：新西谷戸橋）

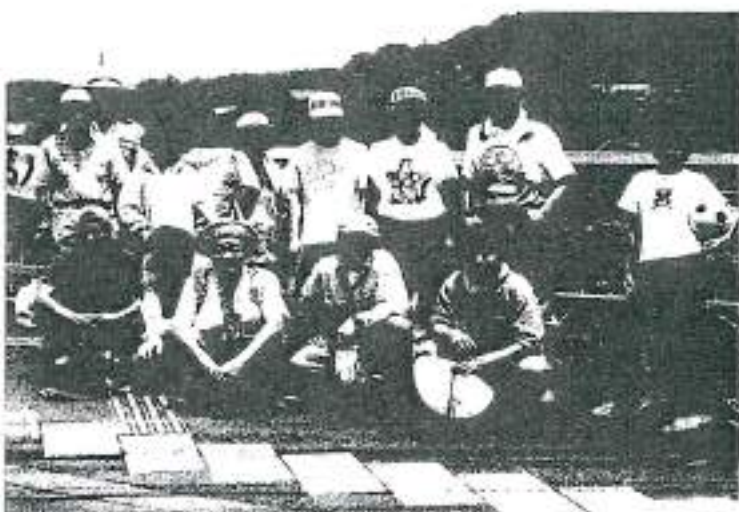
参加：18名（小学生1名含む）



せめてJRから下も、
このハイパスステップ？
欲しい！！（はい！）

水の透明度高い！
まだまだあきらめんで、
がんばるぞい！

菜の花だそうです。
花のイメージと違って、
骨太がっしりさん。



【作業記録】

・燃えるゴミ6袋、樹脂系ゴミ3袋、金属系ゴミ2袋、ガラス・ビン1袋、陶器1袋、電池1袋、金属クズ1山、その他（サッカーボール、ゴルフボール、他）

【補足事項】

・11:30終了は、過去最速。

大物が少ないと作業がはやい。これまでは、自転車やコンクリート片、巨大金属系の大物が見付かると、みんな時間を忘れて取り組みました。去年がんばった分、今年はその大物が比較的小さいので、リズムよく上流に進んでゆきます。

続けています、葛川の浄化活動

二宮町 二宮小四年生 EM菌ダンゴ投入も

六月二十五日、二宮小学校の四年生が葛川の清掃活動を行った。この学年は二年生のときから総合学習の一環として葛川の浄化活動に取り組み、清掃活動や水質浄化が期待されるEM菌ダンゴの投入、環境美化PRの総看板の制作・設置などを行ってきた。そして今年二月にはこの学年の発案で浄化活動は学校全体に広がり、全学年参加の「二小

クリーンアップ作戦」に発展。当初この日、二回目の「二小クリーンアップ作戦」が計画されていたが、日程の関係で実現できず、四年生だけに、しかし、総看板を掲げた新田



EM菌ダンゴを投入する児童たち

橋付近を中心に慣れた様子で清掃やEM菌ダンゴの投入、川の浄化に一役買った。
(伊藤 博通信員)

相模朝日 (平成 15 年 6 月 25 日)

底生動物調査結果

平成15年2月10日

調査日時 平成15年2月9日 9時～16時30分 晴 (前夜雨)

葛川をきれいにする会

調査員 野崎隆夫 萩一成 守屋隆治 田中克己

調査場所

①：打越川水源 ゴルフ場下……採水

②：打越川水源 ゴルフ場下の左岸細流

③：一色水田の湿地

④：一色水田横の水路……採水

⑤：中井湿生公園出口……採水

⑥：中井湿生公園水源

⑦：葛川・打越川合流点の川下…採水

底生動物とCOD

	打越川源流 ゴルフ場下	打越川源流 ゴルフ場下 左岸の細流	一色水田湿地	一色水田横の水路	湿生公園出口	湿生公園水源	葛川・打越川 合流後
綺麗な環境	サワガニ (真っ黒) ヘビトンボ ヤマトクロスジヘビトンボ (真っ黒) ブラナリア (ナミウスムシ)		サワガニ オニヤンマ カワニナ	*ヒガシカワトンボ フタツメカワゲラ セリーシマトビゲラ ブラナリア オナシカワゲラ		*ホトケドジョウ *シマドジョウ	
中間の環境	シロハラコカゲロウ コガタシマトビゲラ	フサオナシカワゲラ	キリウジガガンボ	コカゲロウ	キリウジガガンボ オナシカワゲラ コガタシマトビゲラ		シロハラコカゲロウ
汚れた環境	イトミミズ				ユスリカの種類 ミズムシ		セスジユリスカ イトミミズ
COD	6.8			5.2	4.4		11.4

①*は標本無し ②CODは前夜雨のため若干高めに出ている。

③ゴルフ場下は川底にヘドロが溜まっている。その中にイトミミズがいる。またサワガニ、ヤマトクロスジヘビトンボがいるが表面に黒いものが付着していてやっと生きている感じである。

④一色水田には清水に住む底生動物が多い。将来葛川が綺麗になった時の為に、これらの底生動物が生存出来る現在の環境を保存したい。

⑤湿生公園出口は工事中のためか、底生動物があまりいない。また湿生公園水源は中井町の許可を得ていないので十分な調査はしなかった。

● 打越川の底生動物／水質調査専門部会

日時：平成14年7月6日（土）AM9:30～PM12:00

場所：打越川／秋沢牧場（緑が丘）付近



シマイシビル

体長は、20～40mm。
体は平たく、腹面の前後のはしに吸盤があり激しく伸び縮みする。体は黒っぽく、縦線がある。石などの裏側にいる。



コガタシマトビケラ

トビケラは糸を吐くことで捕食や巣を作る。それによって様々な環境に生息することが可能になった生物である。巣のつくりは種類によって異なる。



コカゲロウ

コカゲロウは水質の中でもきれいなほうに生息している生物である。水質の指標生物の1つでもある。腹部に見られる羽のように見えるのはエラであり、血管が通っているのを見ることが出来る。



ヒメトビケラ

トビケラ的一种。小型であり巣を入れても4,5ミリくらいしかない。巣は粘液と砂粒から出来ている。



ミズムシ

ミズムシはやや汚い水質でも住める生物で、水質指標生物の1つ。



タモロコ

体長は、6～12cm。体の色は全体に銀灰色で、口先は丸みがあり、口ひげが1対ある。形と大きさはモツゴに似ている。

【補足】

秋沢牧場下は比較的水質的にも生物的にも良好な状況なので更に詳細に生物調査を行うと面白いと思います。併せて打越川や葛川の魚類調査なども面白いですよ。

○ 参考文献：「川の生きもの」（川崎市公害研究所）

● 打越川の底生動物／水質調査専門部会

日時：平成14年8月3日（土）AM9:30～PM12:00

場所：打越川／秋沢牧場（緑が丘）付近



ヒメトビケラ



ヒメトビケラ
(拡大)



コガタシマトビケラ



コガタシマトビケラ
(拡大)

【補足】

シマトビケラ類は、水質BOD（生物化学的酸素要求量）およそ、2.5～5.0(mg/l)の、「ややきれい」な河川に生息する。

【語彙説明】

*シマトビケラ類（幼虫）／8～15(mm)：体はイモムシ状で腹側にふさ状のエラがある。

*BOD（生物化学的酸素要求量）：有機物による水質汚泥の程度をあらわし、数字が大きいほど汚れが進んでいることを示している。参考文献：「川の生きもの」（川崎市公害研究所）

● 河川環境基準（二宮町発行「にのみやの環境」より）

3-1 概要

川や海などの自然環境は、私たちの生活にうるおいと豊かな恵みをもたらしてくれます。

この川や海は、都市化の進展とともに汚れが目立つようになってきました。

汚染物質は、人の健康に係わるもの（シアン・カドミウム等）と生活環境の保全に係わるもの（生物化学的酸素要求量・溶存酸素等）に大別されます。その発生源は、工場・事業所からの産業排水や家庭からの生活排水、農業関係の排水等です。当町では、生活排水が汚濁原因の大半を占めています。

このため町では、河川の汚濁状況を把握するため水質調査を実施しています。

生活環境の保全に関する環境基準

河川

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		PH	BOD	SS	DO	大腸菌
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/l以下	25mg/l以下	7.5mg/l以上	50MPN /100ml以下
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/l以下	25mg/l以下	7.5mg/l以上	1,000MPN /100ml以下
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/l以下	25mg/l以下	5mg/l以上	5,000MPN /100ml以下
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/l以下	50mg/l以下	5mg/l以上	
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8mg/l以下	100mg/l以下	2mg/l以上	
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/l以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2mg/l以上	

(注) 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 2 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 水道2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 3 水産1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
 水産2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
 水産3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用
 4 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 工業用水2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
 工業用水3級：特殊の浄水操作を行うもの
 5 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

人の健康の保護に関する環境基準（抜粋）

項目	全シアン	カドミウム	六価クロム	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン
基準値	検出されないこと	0.01mg/l以下	0.05mg/l以下	0.03mg/l以下	0.01mg/l以下

3-2 河川水質調査

環境調査の一環として、町内5河川8地点で、年4回水質調査を実施しました。
また、打越川のなぎさ橋と梅沢川的美浜橋は平成11年度より調査を開始しました。

町を流れる河川のうち葛川・中村川は、昭和47年3月17日県告示第250号により水域類型をC類型として指定されています。

(1) 調査日

第1回	平成13年	6月25日	(月)
第2回	平成13年	9月13日	(木)
第3回	平成13年	12月17日	(月)
第4回	平成14年	3月20日	(水)

(2) 調査項目

生活環境の保全に関する項目 (C類型)

- ①水素イオン濃度 (PH) ②生物化学的酸素要求量 (BOD)
③浮遊物質 (SS) ④溶存酸素量 (DO) ⑤大腸菌群数 (C
類型には基準なし)

人の健康の保護に関する項目

- ①全シアン ②カドミウム ③六価クロム
④トリクロロエチレン ⑤テトラクロロエチレン

その他の項目 (栄養塩類等)

- ①全リン (T-P) ②全窒素 (T-N) ③陰イオン界面活性剤

(3) 調査地点



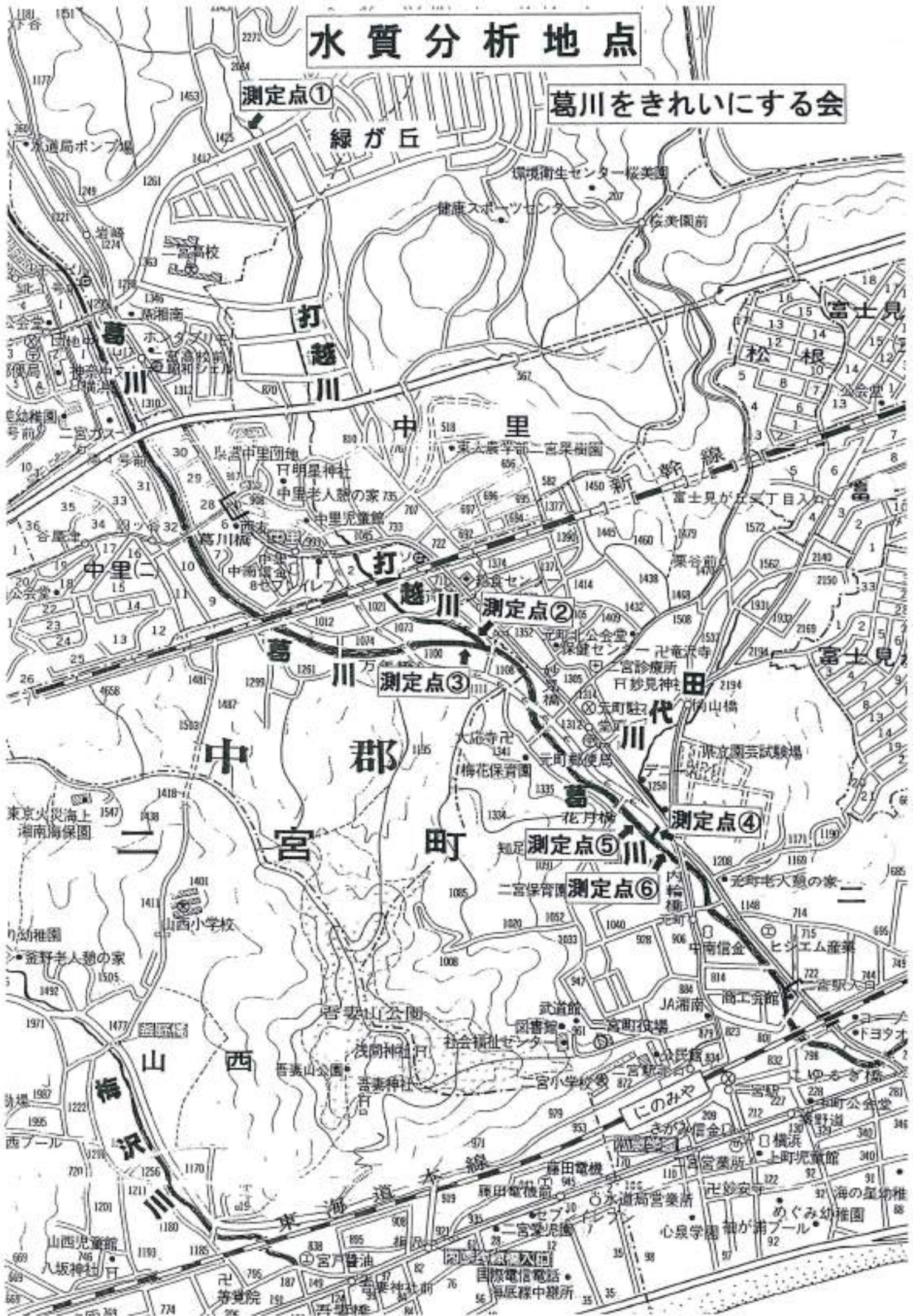
葛川	No.1	田端橋
#	No.2	葛川橋
#	No.3	新原田橋
#	No.4	下浜橋
打越川	No.5	なぎさ橋
田代川	No.6	小門橋
中村川	No.7	押切橋
梅沢川	No.8	美浜橋

水質分析地点

葛川をきれいにする会

測定点①

緑が丘



測定点②

測定点③

測定点④

測定点⑤

測定点⑥

打越川

中里

中宮町

山西

梅沢川

代田

新緑

にのみや

浅間神社

菅妻山公園

菅妻神社

菅妻山公園

菅妻山公園

環境衛生センター 桜美園

健康スポーツセンター

中里老人憩の家

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

中里児童館

富士見

松根

富士見

松根

富士見

松根

富士見

松根

富士見

松根

富士見

松根

富士見

松根

富士見

松根

富士見

松根

富士見

松根

富士見

松根

富士見

松根

富士見

松根

富士見

松根

富士見

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

新緑

代田

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

打越川

中里

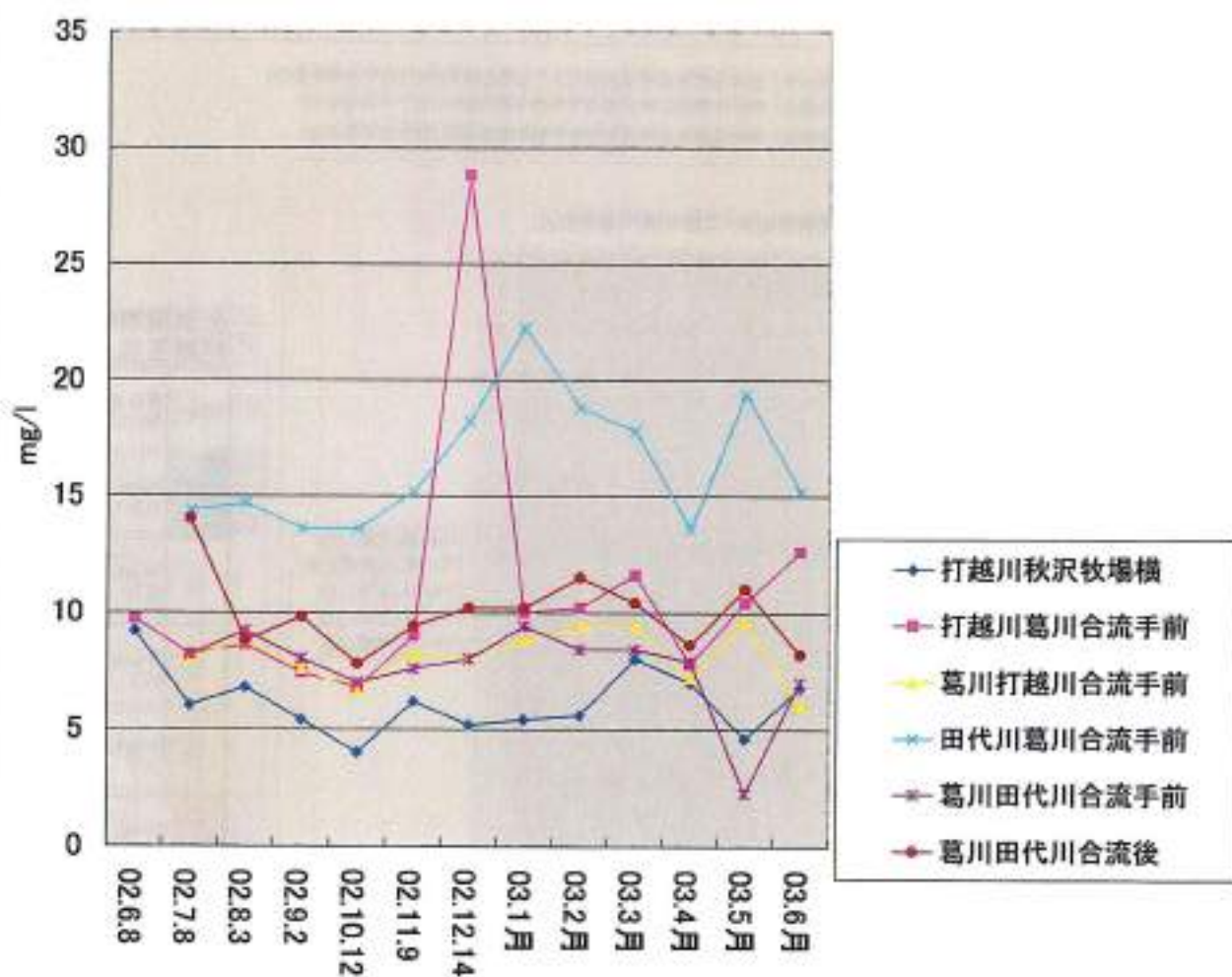
葛川等の水質検査

葛川をきれいにする会

COD (化学的酸素要求量) mg/l

場所	02.6.8	02.7.8	02.8.3	02.9.2	02.10.12	02.11.9	02.12.14	03.1月	03.2月	03.3月	03.4月	03.5月	03.6月
打越川秋沢牧場横	9.2	6.0	6.8	5.4	4.0	6.2	5.2	5.4	5.6	8.0	7.0	4.6	6.8
打越川葛川合流手前	9.7	8.2	8.6	7.4	6.8	9.0	28.8	10.0	10.2	11.6	7.8	10.4	12.6
葛川打越川合流手前		8.0	8.8	7.6	6.6	6.2	8.0	8.8	9.4	9.4	7.2	9.6	6.0
田代川葛川合流手前		14.4	14.7	13.6	13.6	15.2	18.2	22.2	18.8	17.8	13.6	19.4	15.2
葛川田代川合流手前		8.2	9.2	8.0	7.0	7.6	8.0	9.4	8.4	8.4	7.9	2.3	7.0
葛川田代川合流後		14.0	8.8	9.8	7.8	9.4	10.2	10.2	11.5	10.4	6.6	11.0	8.2

葛川をきれいにする会調べ COD

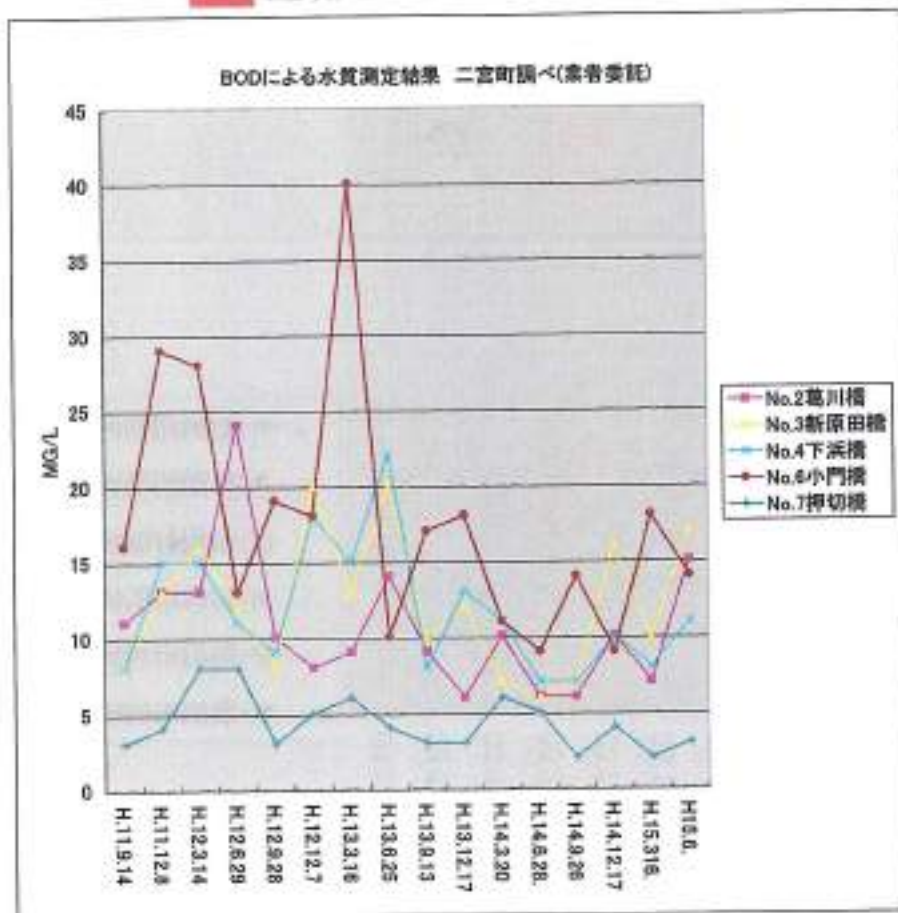


BOD(生物化学的酸素要求量)

業者委託による二宮町調べ BOD

	H15.8.28	H15.8.14	H15.9.8	H15.9.14	H15.9.20	H15.9.28	H15.10.5	H15.10.12	H15.10.19	H15.10.26	H15.11.2	H15.11.9	H15.11.16	H15.11.23	H15.11.30	H16.1.6	
No.1田端橋	3	5	4	7	5	3	7	8	5	6	8	5	3	2	5	4	*
No.2葛川橋	25	11	13	13	24	10	8	9	14	9	6	10	6	6	10	7	15
No.3新原田橋	12	8	13	16	12	8	20	13	20	10	12	7	6	7	16	10	17
No.4下浜橋	10	8	15	15	11	9	18	15	22	8	13	11	7	7	10	8	11
No.5なぎさ橋	4	5	8	18	5	2	6	4	4	4	8	12	7	3	2	5	*
No.6小門橋	16	16	29	28	13	19	18	40	10	17	18	11	9	14	9	18	14
No.7押切橋	5	3	4	8	8	3	5	6	4	3	3	6	5	2	4	2	3
No.8美浜橋	*	*	*	34	16	13	18	22	13	12	12	8	3	12	7	16	5
No.9上北根橋 (No.1田端橋より変更)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	2.6
No.10一色橋(No.5 なぎさ橋より変更)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	3

- 「生活環境の保全に関する環境基準」A類型にあてはまる調査結果(右下の表を参照)
- 「生活環境の保全に関する環境基準」C類型を下回る調査結果(右下の表を参照)
- 「生活環境の保全に関する環境基準」E類型を下回る調査結果(右下の表を参照)



生活環境の保全に関する環境基準

類型	環境基準BOD	利用目的の適応性
A	2mg/L以下	遊泳等通常の浄水操作で水適用、ヤマメ、イワナ等生息、水浴
B	3mg/L以下	高度の浄水操作で水適用、サケ科、アユ等生息
C	5mg/L以下	コイ、フナ等生息
D	8mg/L以下	農業用水
E	10mg/L以下	日常生活上不快感を生じない程度

神奈川県

葛川清掃のごみ内容

(平成13年10月～平成15年6月)

作業実施報告書より集計

2003.7.29作成

清掃日	清掃場所	可燃ゴミ プラ含む		ガラス ビン	缶 金属	コンク リート	バイク		自転車		その他
		袋(山)	袋				台	台			
1	H13.10.13	葛川橋・軒吉橋	6	1	1	1					
2	10.27	葛川橋・軒吉橋	11	3	1		1		1		
3	11.03	新田橋・原田橋	7	1	1				3		毛布、ガラクタ
4	11.13	新田橋・金田橋	7	1	1						
5	12.22	原田橋・金田橋	9	1	1						
6	H14.1.19	新田橋下	5	1	1						
7	3.2	新西谷戸橋・清水橋	25	0	1						
8	3.16	新西谷戸橋・清水橋	13	1	1						
9	4.6	上北根橋・向根橋	16	1	3						雑木24束 消火器、雑木20束
10	4.20	向根橋・前田橋	12	1	2						ポリタンク、ドラム缶、バッテリー
11	5.4	前田橋・新西谷戸橋	24	3	4						バッテリー、扇風機
12	6.1	葛川橋・軒吉橋	11	2	3				1		木材、陶器、電池
13	6.22	軒吉橋・萬年橋	19	1	9	2			2		エンジン、陶器
14	6.29	小田厚下・葛川橋	10	1	1	2			1		
15	7.6	萬年橋・妙見橋	20	2	2		1				鉄製品
16	7.20	妙見橋・花月橋	10	1	1				1		鉄屑
17	8.3	花月橋・内輪橋	10	1	2		1		2		バッテリー2、農薬
18	8.17	内輪橋・倉田橋	7	1	1		1				
19	9.21	倉田橋・こゆるぎ橋	21	3	4				4		ラジカセ、バイクホイール、バッテリー、電池
20	10.5	新田橋・塩海橋	22	1	1				3		布団、鉄製品
21	10.17	塩海橋・下浜橋	25	1	1						鉄屑
22	11.2	下浜橋・新道橋途中	13	3	7				1		
23	11.16	倉田橋・川窪橋	13	2	3						消火器、三角停止板、陶器2
24	H15.3.29	新西谷戸橋・清水橋	8	0	1						鉄屑
25	4.19	清水橋・内輪橋	24	0	7				2		電池、陶器2、看板2、ドラム缶
26	5.3	新田橋・鍛冶屋橋	21	1	4				1		ヒールハイブ、バッテリー、陶器
27	6.7	下北根橋・前田橋	15	2	3						
28	6.21	前田橋・新西谷戸橋	9	1	3						陶器、電池
	合計		393	37	70	5	4		22		

EM 作業投入記録

EM とは？

昔から世界各地にある発酵食品、たとえばパンやヨーグルト、納豆、味噌、醤油、酒などは微生物（こうじ菌、乳酸菌、酵母菌など）を利用して作っています。このように自然界の中にたくさんいる微生物の中には人間を助けるものも多く、とても身近な存在です。

有用微生物とは、人間の腸内に住むビフィズス菌等のように、環境をよくし動植物の細胞を活発化する酵素や生成物を作り出す微生物のことで人間にも自然環境にも役立つものを言います。

そして条件を変えれば微生物同士は、お互い有用な共同作業ができるのです。こうした、役に立つ複数の微生物を組み合わせたものが EM=有用微生物群なのです。

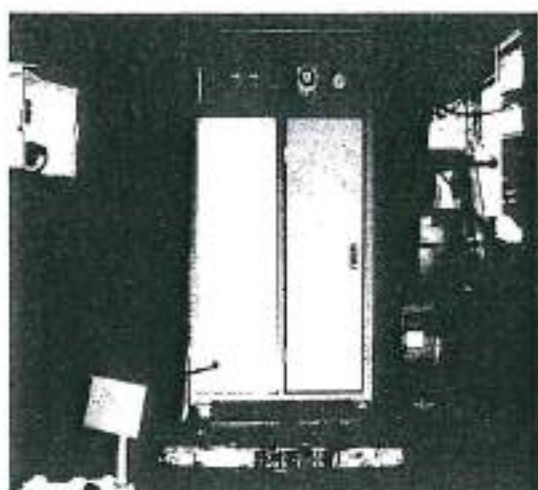
E = Effective (有用)

M = Microorganisms (微生物群)

EM は
土壌改良、
生ゴミの発酵を促進させる作用により堆肥の生成
悪臭や汚染物質の分解を促進させることによる悪臭の緩和や河川の浄化
など農業、環境浄化や暮らしに役立っています。

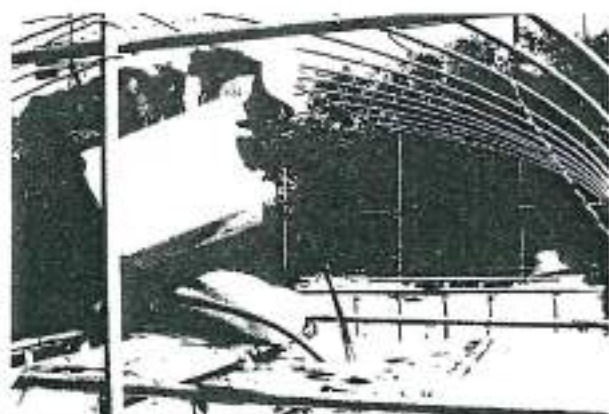
葛川をきれいにする会による
EM 放流量

年	月	放流量 L
14年	5月	1,500
14年	6月	2,500
14年	7月	2,500
14年	8月	3,000
14年	9月	2,000
14年	10月	700
14年	11月	420
14年	12月	460
15年	1月	480
15年	2月	440
15年	3月	400
15年	4月	1,640
15年	5月	4,087
15年	6月	4,040
15年	7月	5,100
合計		29,267



左は百倍利器。これにより第一次発酵液を増殖することができる。容量は100リットル。

米ぬかを水に濾し出している。



糖蜜を1トンタンクに入れる。
この他に一次発酵液、濾し出した米ぬか液、食塩などを入れる。

1トンタンクが2つある。タンクの中で出来上がった二次発酵液を葛川の上流である打越川に放流している。
このタンクは打越川の上流にある秋澤牧場に置かせていただいている。



参加、主催行事等一覧

(H13年度10月～H15年度6月)

H13.12.15	第1回定例会
H14.1.12	第2回定例会
H14.1.18	湘南工科大学「学生ボランティア単位制度」への団体登録
H14.2.9	第3回定例会、水質浄化部会発足
H14.2.16	二宮町主催「総合計画フォーラム」に向後、小林意見発表
H14.2.21	「質問書」を町長、6課に提出
H14.3.6	「二宮まちづくりボランティア連絡会」(以下ボラ連)に入会
H14.3.9	第4回定例会
H14.3.16	相模川流域協議会で当会の紹介(田中)
H14.3.21	「二宮の今日と明日を創る会」主催フォーラム意見発表(向後)
H14.4.13	第1回総会
H14.4.24	ボラ連交流会参加
H14.4.25	神奈川県平塚土木事務所訪問(草刈受注交渉)
H14.5.11	第5回定例会
H14.5.25	梅沢海岸530(ゴミゼロ)キャンペーン参加
H14.5.26	「有機の会」総会へ参加(向後)
H14.5.31	細谷氏による水質調査同行
H14.6.8	第6回定例会
H14.6.8	葛川ウォーク主催
H14.6.15	新西谷戸橋下に菖蒲を50株植える
H14.6.15	EM百倍力器移動開始
H14.6.15,16	「ボラ連ボランティア祭」参加
H14.6.26	二宮小学校新田橋でEM団子投入立会い
H14.6.29	二環会設立準備会開催
H14.6.29	ボラ連ボランティア祭反省会出席
H14.7.13	第7回定例会・臨時総会
H14.8.10	第8回定例会・納涼会
H14.8.31	「二環会」正式発足・加入 田中会長選出
H14.9.14	第9回定例会
H14.10.7	ボラ連交流会出席
H14.10.9	秦野大根中学校より活動紹介依頼あり訪問

H14.10.12	第10回定例会
H14.11.9	第11回定例会
H14.11.23	二宮小学校へトイレ清掃用EM発酵液納入
H14.12.14	第12回定例会・忘年会
H14.12.21	3町主催「葛川フォーラム」開催（野谷役員パネリスト参加）
H15.1.11	第13回定例会
H15.2.8	第14回定例会
H15.2.14	中井町役場にて当会の紹介及び協力要請
H15.2.15	ボラ連「ボランティア講演会」にて講演（向後）
H15.2.16	大磯町「環境フォーラム」に参加
H15.2.24	相模灘沿岸保全基本計画住民懇談会に出席
H15.3.8	第15回定例会
H15.4.12	第2回総会
H15.4.19	ボラ連交流会にて向後代表選出される
H15.5.21	大磯プリンスホテル従業員と葛川「水の公園」清掃参加
H15.5.24	梅沢海岸530キャンペーン参加
H15.6.14	第16回定例会
H15.6.27,28,29	ボラ連「ボランティア祭」参加（展示、EM発酵液販売）

平成15年度6月まで

正会員

赤羽 興三郎、池田 啓介、石松 一彦、井手内 清、今津 義夫、川上 清、川野 泰明、桑田 恒男、桑田 敬子、向後 孝明、古林 源次郎、小松 俊夫、関谷 忠夫、高木 信幸、竹原 繁男、田中 克巳、中村 隆一、奈良 淑子、西園 治雄、野谷 悦、長谷川 芳男、蜂須賀 光子、原 富士徳、平賀 国雄、平野 安、平本 三男、福岡 久義、福島 真喜子、藤田 尚志、藤原 幸子、古山 弘幸、政金 駿、柁 一成、水谷 英子、光富 佳子、峯尾 正昭、森 直美、守屋 隆治、吉澤 正博、米山 史雄

賛助会員

市川 光佑、伊藤 洋子、(有) エイエスエイ タケハラ、石塚 富士夫、小林 績、坂本 孝也、佐川 眞一、佐本 司朗、関谷 敏、藤間 豊、原 昭一、松岡 史子、有限会社マツモト (工藤行雄)、丸山 昌俊、森 直樹、横山 信義、吉武 早苗、吉武 紳吾

参加者・準会員・家族会員

伊藤 妙子、金目 芳子、山崎 等、月橋利行、竹原将巳、宮田豊一、蜂須賀小夜、蜂須賀基王、白畑まどか、古沢吉郎、飯塚淳、前屋敷勇、西山幹男、五島明俊、星野正美、武喜代治、向後清孝、向後真孝、小澤伸夫、相場宣正、坂井俊六、工藤行雄、西山幸治、深沢一男、武井健二、柳川幸司、西山喜介、玉城和男、杉崎一夫、小池誠、吉本秀文、井上良光、田中ヒロ子、関山謙一、近藤亜理人、関野拓哉、石松卓也、佐伯翔也、松木一了

「葛川をきれいにする会」に
ご協力いただいた団体・機関等

神奈川県平塚土木事務所河川砂防部第一課

神奈川県平塚土木事務所計画建設部許認可指導課

神奈川県平塚土木事務所工事契約課

神奈川県環境科学センター

二宮町環境課

二宮町地域推進課

二宮町教育委員会

二宮町建設課

中井町企画課

大磯町環境防災課

二宮町立二宮小学校

秦野市立大根中学校

湘南工科大学

EM研究機構

一色秋澤牧場

(有)オフィスホソヤ

(有)エコライフ ゆたか

(有)エイエスエイ タケハラ

マックスバリュ東海(株)(八百伴)

大磯プリンスホテル

(株)タウンニュース社

相模朝日

神奈川新聞社

カナ倶楽部

二宮ライオンズクラブ

二環会

[編集後記]

ほぼ 10 回の編集・出版会議と印刷・製本作業を以って、ようやくわが会の記録集ができました。予算と人手と時間の関係で、その内容と体裁ごときは、まことに拙いものでありますが、とにかくできあがったことに、編集委員一同ほっとしております。

毎年発行できることを目指し、今後とも頑張っていきたいと思ひます。

じつは、本当にまだまだ載せたい記事や資料がありますが、内容、体裁とも今後に期待したいと思ひます。改めて、編集委員スタッフ、関係者の皆様の協力に感謝したいと思ひます。

T・K

葛川をきれいにする会
活動記録集 第 1 号
(平成 13 年 10 月～平成 15 年 6 月)

編集・発行責任者 向後 孝明

編集委員 関谷 忠夫 野谷 悦
藤田 尚志 中村 隆一

印刷・製本協力 ASA 二宮

本会事務局 二宮町百合ガ丘 1-98-3
田中 克巳 宅
0463-73-0022

本会ホームページ <http://www.ofwa.org/kuzukawa/>

平成 15 年 (2003 年) 8 月 発行